

熊本市緑の基本計画
アンケート調査報告

令和 2 年 8 月

1. 調査の概要

1-1 調査方法

調査方法は、以下のとおりです。

①調査地域	熊本市域		
②対象者	熊本市域に在住する18歳以上の市民	市民団体	
③調査方法	郵送による調査	Webによる調査	郵送による調査
④配布数	市民2000通	—	市民団体50通
⑤抽出方法	市民：無作為に抽出	熊本市HPに掲載	公園愛護会 30 街路樹愛護会 10 森林インストラクター 10
⑥調査期間	令和2年7月2日(木) ～7月16日(木)	令和2年7月2日(木) ～7月31日(金)	令和2年7月2日(木) ～7月16日(木)

1-2 回収状況

回収状況は、以下のとおりです。

<市民アンケート>

	郵送			Web	合計
	発送数	回答数	回収率	回答数	回答数
中央区	400	178	44.5%	313	491
東区	400	147	36.8%	269	416
西区	400	141	35.3%	146	287
南区	400	154	38.5%	177	331
北区	400	130	32.5%	171	301
不明		0		2	2
合計	2,000	750	37.5%	1,078	1,828

<市民団体アンケート>

	発送数	回収数	回収割合
公園愛護会	30	27	90.0%
街路樹愛護会	10	9	90.0%
森林インストラクター	10	7	70.0%
合計	50	42	84.0%

* 1サンプル重複回答

2. 調査結果のまとめ

2-1. 市民アンケート

■ 熊本市全体の緑について

1 緑への関心について

○熊本市全体の緑へ、「関心がある」が54.5%、「少し関心がある」が33.3%で、合計87.8%であり、多くの方が緑に関心を持っています。年齢別にみても全ての年齢の方が関心を持っています。

2 熊本市全体の「緑」に対する満足度

○熊本市全体の緑に対して「満足している」13.8%、「どちらかといえば満足」39.9%で、合計は53.7%、「不満である」2.6%、「どちらかといえば不満」12.7%で合計は15.3%です。満足している方が多いです。

3 熊本市の緑の増減について

○熊本市の緑は10年前と比べて「変わらない」の回答が33.1%と最も多いです。居住地別に「増えた」、「やや増えた」の合計と、「やや減った」、「減った」の合計を比較すると、みると、増えたが多いのは『西区』、減ったが多いのは『東区』、『中央区』です。

4 熊本らしいと感じる緑の場所

○熊本らしいと感じる緑は、半数以上の方が、「水前寺・江津湖周辺や八景水谷等の水辺の緑」や「熊本城や花岡山等の中心市街地周辺の緑」をあげています。

5 中心市街地の緑の量、質

○中心市街地の緑の量について、満足している（「多い」、「どちらかといえば多い」、「ちょうどいい」）の合計は67.2%です。「30歳代」は56.1%とやや低くなっています。緑の量が少ないと思う点では、熊本駅周辺で緑が少ないという回答が多くあります。

○中心市街地の緑の質は、満足している（「満足している」、「どちらかといえば満足」）の合計は、34.2%で、「緑の量」と比較して低くなっています。「18歳～20歳代」は49.6%と、他の年齢と比較して『緑の質』を高く評価しています。緑の質について不満な点では、維持管理に関する内容が多く回答されています。

⇒年齢や居住地を問わず、緑への関心は高く、約86%が関心をもっており、熊本市全体の緑に53%の方が満足しています。熊本らしい緑には、「水前寺・江津湖周辺や八景水谷等の水辺の緑」や「熊本城や花岡山等の中心市街地周辺の緑」などがあげられており、これらの緑を特に保全していく必要があります。

⇒熊本市の緑の増減について、約33%は「変わらない」としており、「西区」では増えている、「東区」、「中央区」では減っていると感じている傾向があります。

⇒中心市街地の緑については、「緑の量」は約67%が満足しています。「緑の質」は約34%が満足していますが、「緑の量」と比較して低くなっています。特に、緑の質について満足度の向上が求められています。

■ 現在の居住地周辺の緑について

1 居住地周辺の緑の量、質

- 居住地周辺の緑の量について、満足している（「多い」、「どちらかといえば多い」、「ちょうどいい」の合計）は、79.0%です。「北区」で86.0%と高く、「中央区」では73.3%と他の区と比較して低くなっています。
- 居住地周辺の緑の質について、満足している（「満足している」、「どちらかといえば満足」の合計）は、36.5%で、“緑の量”と比較して低くなっています。年齢別にみると、「18歳～20歳代」は44.5%と高く、「30歳代」、「80歳代」は30.5%、30.8%と低い評価となっています。

2 居住地周辺で緑を感じる場所

- 居住地周辺で緑を感じる場所で最も多いのは、「公園の緑」55.9%で、多い順に、「街路樹の緑」35.8%、「生垣や庭木のある住宅の緑」33.5%、「学校等の公共施設の緑」28.3%、「河川の緑」25.7%です。これらに加えて、『西区』、『北区』は、「森林の森」、「果樹園や畑、水田の緑」が、「南区」は「果樹園や畑、水田の緑」が、住まいの近くの緑を感じる場所になっています。

⇒居住地周辺の緑について、「緑の量」は79%が満足しており、“居住地周辺の緑の量”は、“中心市街地の緑の量”よりも評価されています。「緑の質」は約36%が満足していますが「緑の量」と比較して低くなっています。特に、緑の質について満足度の向上が求められています。

⇒緑を感じる場所は、「公園」、「街路樹」、「住宅」の緑が特に多く、身近で緑を感じる重要な施設であるといえます。

■ 緑の将来像について

1 緑をどのように保全すべきか

- 熊本市全体の緑の保全については、「積極的に保全したほうがよい」と考えている方が79.9%と多くなっています。

2 重点的に保全すべき緑の場所

- 熊本市全体で緑を重点的に保全していくべき場所には、「熊本城や花岡山等の中心市街地周辺の緑」58.0%、「水前寺・江津湖周辺や八景水谷等の水辺の緑」55.3%、等があげられています。「貴重な動植物の生息・生育する緑」、「災害の防止に寄与する緑」も49.0%、48.7%と関心が高く、特に、年齢が若いほどその割合が多くなります。

3 多様な生物の生息環境の確保方策

- 多様な生物の生息環境を確保するための取組については、「森林や河川等の自然環境の保全」が69.7%と最も多く、次に多いのは「外来生物による生態系への影響の防止」58.5%など、様々な取組みが回答されています。

4 「グリーンインフラ」の認知状況

- 「グリーンインフラ」の言葉について、「知らない」が最も多く64.1%、「言葉は知っているが意

味はよくわからない」が22.3%です。

⇒ほぼ年代、居住地を問わず、緑について約80%が積極的に保全したほうがよいと考えています。また、多様な生物の生息環境を確保するため、森林や河川等をはじめ現在の自然環境を保全することを第一としながら、外来生物への対策や希少動植物の保全などの意見も多く寄せられました。

⇒緑への関心は高いものの、「グリーンインフラ」の認知状況が高くないことから、緑等に関する情報の発信が不足していることが考えられます。

⇒重点的に保全すべき緑の場所として、熊本城や水前寺江津湖など、様々な熊本を代表するエリアにおける緑の保全の必要性が高いと言えます。

■ 市街地の緑に関する将来像について

1 市街地の緑の将来像

○市街地(住宅や商業施設等の建物が立ち並んでいる地域)の緑について、「緑を増やした方がよい」58.3%、「現状のままでよい」が34.7%です。

2 緑に関する施策を重点的に実施すべき場所

○市街地において重点的に実施すべき緑の施策の場所は、「公園」が64.1%と最も多く、多い順に「街路樹」49.2%、「河川」36.2%、「公共施設(学校除く)」29.8%、「学校」23.5%です。

⇒市街地の緑については、「緑を増やした方がよい」約58%、「現状のままでよい」約35%です。「公園」、「街路樹」、「河川」、「公共施設(学校等)」を中心に適切な緑化を引き続き行っていくことが望まれています。

■ 公園の運営維持管理について

1 公園整備のあり方

○「公園の数は現状でよいが施設を増やし利用しやすい公園に改修していく」が最も多く48.7%であり、「公園を増やしていく(公園が少ない場所等)」も次に多く23.5%です。居住地別にみると、各区ともに「公園の数は現状でよいが施設を増やし利用しやすい公園に改修していく」が最も多いですが、「公園を増やしていく(公園が少ない場所等)」が「西区」30.0%、「北区」27.9%と他の区と比較して多くなっています。

2 公園の維持管理についての不満

○公園の維持管理への不満は、「トイレの汚れや故障が多い」49.3%、「雑草が伸びている」45.2%が比較的多く、その他「樹木の選定、伐採」等の回答も多くみられました。

3 公園の運営維持管理のあり方

○公園の運営維持管理について、「市が主体となって維持管理を行う」の回答は少なく、「住民がボランティアで維持管理するが市から活動費用の一部を助成する」52.8%や、「民間企業が公園にカ

フェ等を整備し、その収益を活用して運営維持管理する」47.0%が多いです。市民、民間企業等と連携した公園の維持管理が求められています。

4 公園の緑のあり方

○公園の緑のあり方について、「樹木等を減らす、もしくは植え替える等をして、管理を充実した方がよい」が最も多く、43.8%でした。「緑が少ないので、樹木等を増やす方がよい」は25.7%、「樹木等よりも、広場や施設などが欲しい」は16.0%です。

5 街路樹のあり方

○街路樹のあり方について、「街路樹をさらに増やしていく」は11.9%と少なく、「街路樹は、落ち葉が少ない樹木や、中木、低木などに植え替える」43.3%、「街路樹の定期的な植え替えを行い、現在の量を維持していく」33.7%が多くなっています。『中央区』、『北区』では、「街路樹をさらに増やしていく」が15.3%、14.6%と他の区と比較して多くなっています。

6 街路樹の維持管理への評価

○街路樹の維持管理への不満は、「除草ができていない」、「落ち葉の清掃ができていない」、「高木の剪定ができていない」、「巨木化や根上がりにより通行に支障がある」といった不満があります。

⇒公園の運営維持管理については、「公園の数は現状でよいが施設を増やし利用しやすい公園に改修していく」とする意見が多くある一方で、「公園が少ない場所で公園を増やしていく」とする意見も比較的多くみられます。そこで、公園は、分布状況に応じて公園の整備の必要性を検討しながら、既存公園の維持管理の充実を行っていくことが望まれます。

⇒公園の維持管理については、市民や民間企業等と連携した公園の維持管理が求められています。「トイレの汚れや故障が多い」、「雑草が伸びている」などの利用にあたって必要不可欠な項目への不満が多くありました。また、公園の緑は、緑が少ないところで樹木等を増やししながら、既存の樹木の管理を充実していくことが、求められています。

⇒街路樹は、街路樹をさらに増やしていくよりも、現在ある街路樹の植え替えを行いながら維持管理していくことが求められています。

■ 民有地の緑化について

1 民有地の緑化の推進

○民有地の緑化について、「緑化を推進したほうがよい」41.6%、「現状のままでよい」36.4%であり、「緑化は必要がない」は3.9%と低い回答です。

2 民有地の緑化の課題

○民有地の緑化を図るための課題は、「管理に経費がかかる」66.8%、「管理が面倒である」47.1%、「緑化スペースがない」22.3%、「緑化のやり方がわからない」21.0%です。

3 民有地の緑化の進め方

○民有地の緑化を進めるために必要な助成制度、支援については、「民有地内の植樹による緑化に対する助成」が42.6%と多く、その他「緑化に関する情報提供の充実」28.4%、「民有地内の緑化に向けた植樹の配布」26.4%、「建物の壁面、屋上への緑化に対する助成」25.8%、「新築時等の記念樹の配布」24.6%の順でした。様々な助成、支援が求められています。

⇒民有地については、約41%の方が「緑化の推進」を望んでいます。民有地の緑化については、特に、経費、管理の手間等が課題であり、様々な助成制度、支援が求められており、特に、民有地の植樹に対する助成の声が大きくありました。

■ 緑化推進体制や緑の管理について

1 緑化や緑の保全活動への参加への関心

○緑化や緑の保全活動への参加について、「関心がある」20.7%、「少し関心がある」45.1%をあわせて65.8%でした。『18歳・20歳代』は、あわせて70.0%と他の年齢と比較して関心が高くなっています。

2 あなたが参加できる活動

○参加できそうな緑化、緑の保全活動は、多い順に、「自宅の道路に面した部分の緑化や生垣づくり」32.9%、「公園・道路等の花壇づくりや植樹への参加」31.9%、「まちの緑化、緑地保全のための募金」31.0%です。また、「公園・道路等の花壇づくりや植樹への参加」、「公園や街路樹の水やりや除草」、「河川の環境保全活動への参加」、「森林の保全活動」といった参加型の活動にも関心があります。また、緑化、緑の保全活動への関心は、若い年齢層ほど高いことがわかりました。

3 緑化、緑の保全の進め方

○緑化の推進や緑の保全の進め方は、最も多いのは、「市民と行政が協力して進めていく」が65.3%で、「行政主導で進めていく」は17.3%、「市民主導であり、行政は必要な支援を行う」は8.3%でした。

⇒緑化や緑の保全活動への参加への関心は高く、緑化や緑の保全活動については、市民、行政の協働による形が求められています。

⇒市民が参加できそうな活動では、自宅や公園、道路等における緑の創出に関する活動への関心が高かった他、緑の保全のための募金活動への関心も高く、若い年齢層ほど関心が高いこともわかりました。

2-2. 市民団体アンケート

■ 現在行っている市民活動について

1 市民活動の内容について

- 『公園愛護会』は、公園の清掃・除草・植樹等を行っており、その他、街路樹周辺の清掃・除草・植樹等や、研修会・観察会等イベント、広報紙の発行、「募金活動を行っています。
- 『街路樹愛護会』は、主に街路樹周辺の清掃・除草・植樹等を行っており、公園の清掃・除草・植樹等を行っている団体もあります。
- 『森林インストラクター』は、研修会・観察会等イベントを開催しており、森林地域や公園の清掃・除草・植樹等も行っています。

2 活動頻度

- 活動の頻度は、月1回・2回で約88%と多く、森林インストラクターは月2回以上が87.5%です。

3 活動の自己評価

- 十分満足な活動ができている、ある程度満足な活動ができていると回答した団体が多く、約81%です。

4 団体構成員の確保

- 知人もしくは知人の紹介、回覧等広報による募集や、自治会役員などにより確保しています。

5 他の市民団体との連携

- 『公園愛護会』:最も多いのは「役割分担や情報交換をしながら連携して活動している」(約51%)です。連携や情報交換をしていない団体もみられます。
- 『街路樹愛護会』:最も多いのは、「それぞれが独立して行動しており連携していない」(55.6%)です。
- 『森林インストラクター』:最も多いのは「役割分担や情報交換をしながら連携して活動している」(87.5%)です。

6 行政との関係

- 行政との関係は、助成金や物資の配布や、問題が起こった場合の相談・対応、活動予定・内容の情報提供や情報交換などです。

7 広報活動の方法、内容

- 広報の方法は、『公園愛護会』、『街路樹愛護会』は紙媒体による広報が多く、広報を特にしていない団体もあり、情報機器の活用が進んでいない状況です。『森林インストラクター』は、ホームページ等への掲載を行っています。
- 広報活動の内容は、活動予定や実績の報告や活動参加依頼などとなっています。

8 資金や物資の調達

- 主に、行政からの支援、会費によって調達しています。「民間企業からの支援」や、「イベント等の事業収入」は少ない状況です。

9 活動を続けてよかった点

○市民活動を続けて良かった点は、仲間づくりやコミュニケーションづくりができるのに加えて、社会貢献ができる、活動の成果がでていたといった点があげられています。

10 活動における問題点

○「団体構成員の高齢化や、担い手・後継者の不足」や、「団体構成員の減少」といった団体構成員の問題が大きく、「市民活動の参加者の減少」、「地域住民との協力不足」といった参加者の問題や、「活動費用の不足」といった問題があります。

11 活動の継続

○今後、引き続き活動を継続する団体が95.4%とほとんどです。

12 活動の進め方

○多くの市民団体が、地域、行政等との連携の強化を進めていきたいと考えています。

13 活動のための支援

○行政から、助成金や物資、広報活動の支援、助成制度の情報提供、活動をより良くしていくために必要なノウハウや知識の勉強会といった支援を求めています。

⇒『公園愛護会』、『街路樹愛護会』、『森林インストラクター』は、主に公園、街路樹の清掃・除草・植樹、研修会・観察会等イベント等を行っており、広報紙の発行、募金活動も行っています。

⇒多くの団体が月1・2回の活動を行っており、満足な活動を行っていると感じています。

⇒団体構成員は主に紹介、広報による募集で確保され、広報では、主に活動予定や活動参加依頼などしていますが、主に回覧、掲示板等といった紙媒体によるもので、情報機器の活用が不足している状況です。

⇒資金や物資は、主に行政や会費によって調達しています。ほとんどの団体が、今後引き続き活動を継続するとしており、そのためには、団体構成員の高齢化、減少や、担い手・後継者の不足といった問題や、市民活動の参加者の減少、地域住民との協力不足といった参加者の問題、活動費用の不足といった問題があります。

⇒多くの市民団体が、地域、行政等との連携の強化を進めていきたいと考えており、行政からは、助成金や物資、広報活動の支援、助成制度の情報提供、活動をより良くしていくために必要なノウハウや知識の勉強会といった支援を求めています。

3. 市民アンケートの調査結果

I あなた自身についておたずねします。

I-1 年齢

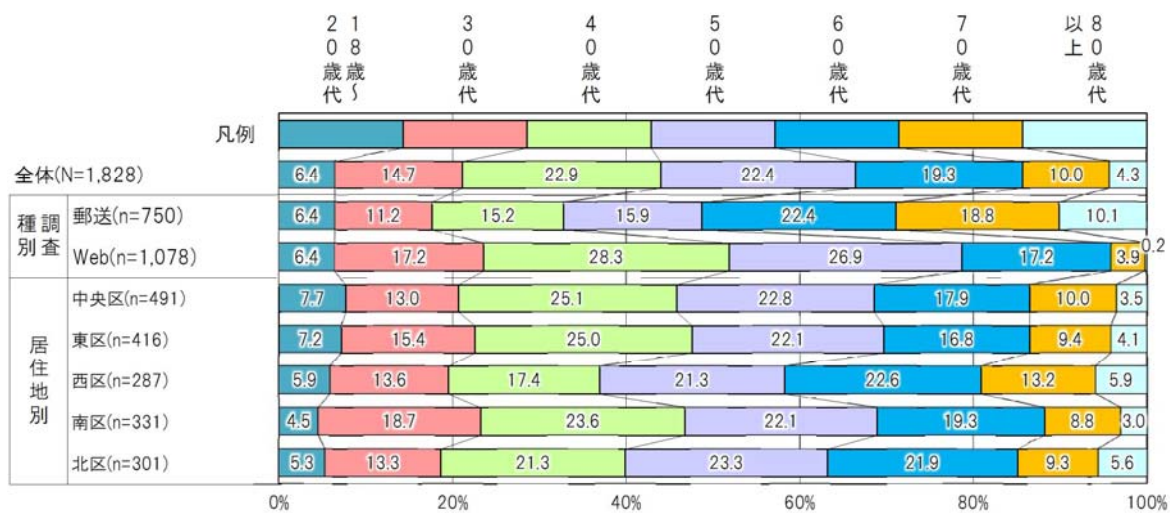
(該当するものに1つ〇印をつけてください)

- 1_18歳～20歳代 2_30歳代 3_40歳代 4_50歳代 5_60歳代
6_70歳代 7_80歳代以上

全体：・「18歳～20歳代」が6.4%と少なく、また、「50歳代」が22.4%、「40歳代」が22.9%と比較的多くなっていますが、バランスのとれた回答者構成となっています。

Web：・「40歳代」が28.3%、「50歳代」が26.9%と多く、70歳以上は少なくなっています。

居住地別：・「南区」は高齢者の割合がやや小さく、「西区」は高齢者の割合がやや多くなっています。

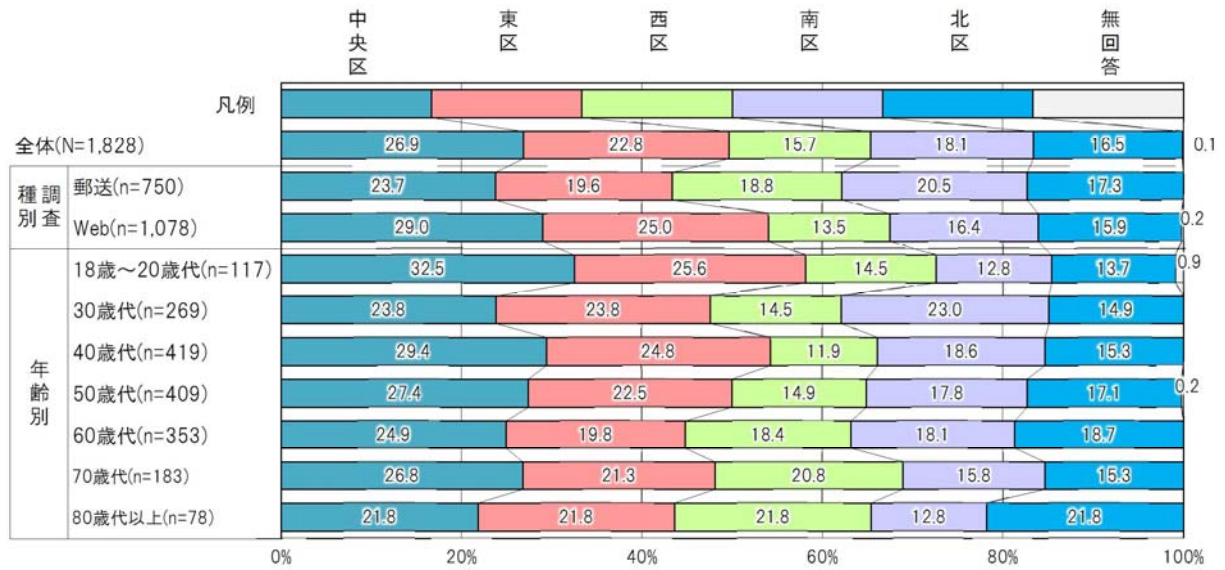


I-2 居住地

(該当するものに1つ○印をつけてください)

1_中央区 2_東区 3_西区 4_南区 5_北区

全体：・「中央区」が26.9%と多く、「西区」が15.7%、「北区」が16.5%と少なくなっています。



I-3 居住形態

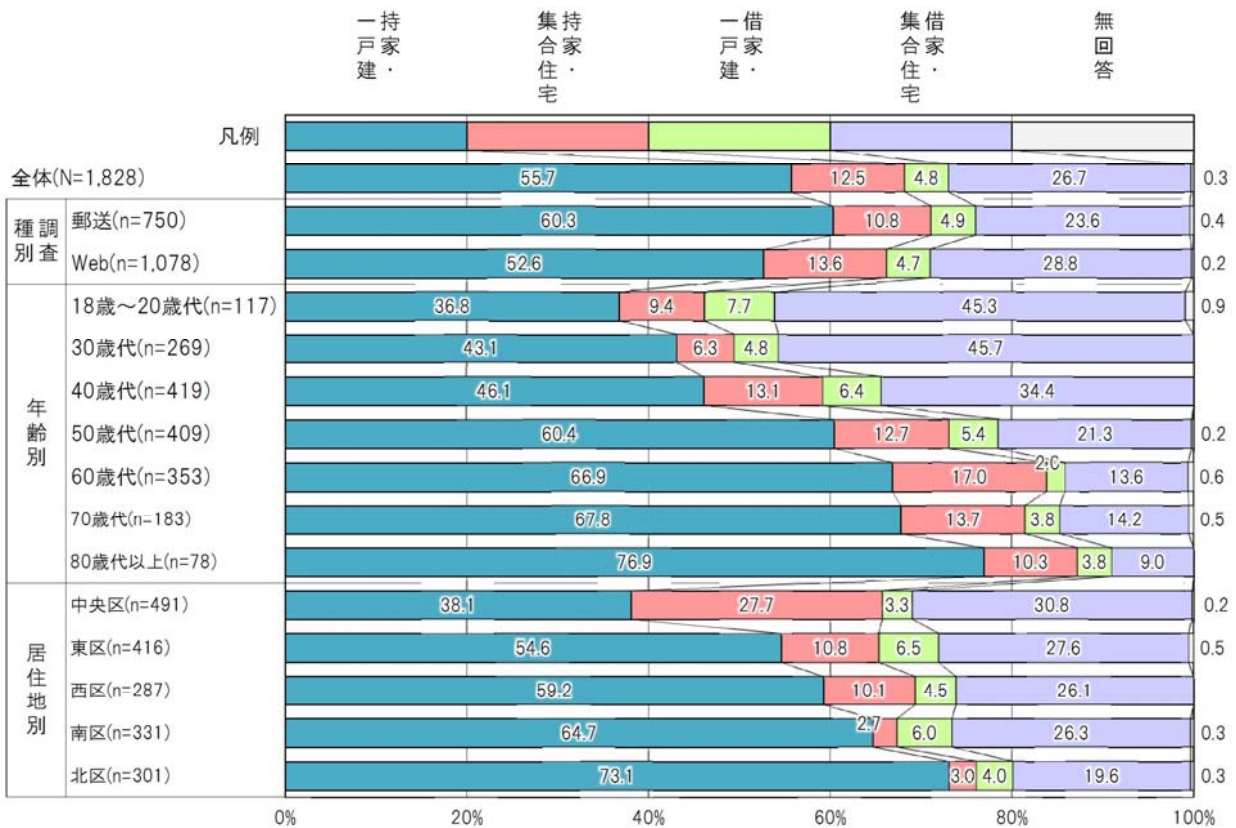
(該当するものに1つ〇印をつけてください)

1_持家・一戸建 2_持家・集合住宅 3_借家・一戸建 4_借家・集合住宅

全体：・「持家・一戸建て」55.7%と最も多く、次いで「借家・集合住宅」26.7%、「持家・集合住宅」12.5%となっています。

年齢別：・「持家・一戸建て」は、「18歳～20歳代」36.8%から「80歳代」76.9%と順に多くなっています。

居住地別：・「持家・一戸建て」は、「中央区」で38.1%と少なく、「南区」64.7%、「北区」73.4%と多くなっています。



I-4 居住年数

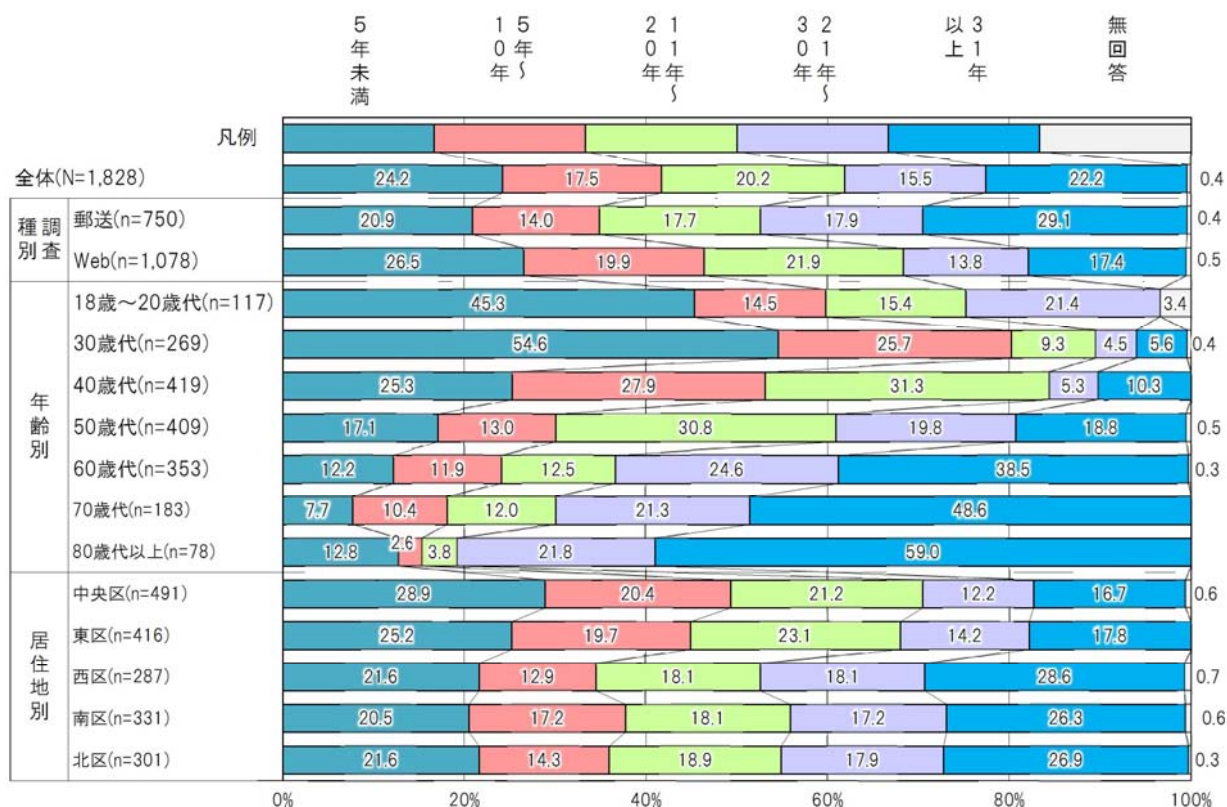
(該当するものに1つ○印をつけてください)

1_5年未満 2_5年～10年 3_11年～20年 4_21年～30年 5_31年以上

全体：・「5年未満」が24.2%と比較的多いですが、各居住年の方々が平均的に回答しています。

年齢別：・年齢が高いほど、居住年数が多くなる傾向があります。

居住地別：・「中央区」は「5年未満」が28.9%と多く、「西区」、「南区」、「北区」は、「31年以上」が28.6%、26.3%、26.9%と多くなっています。

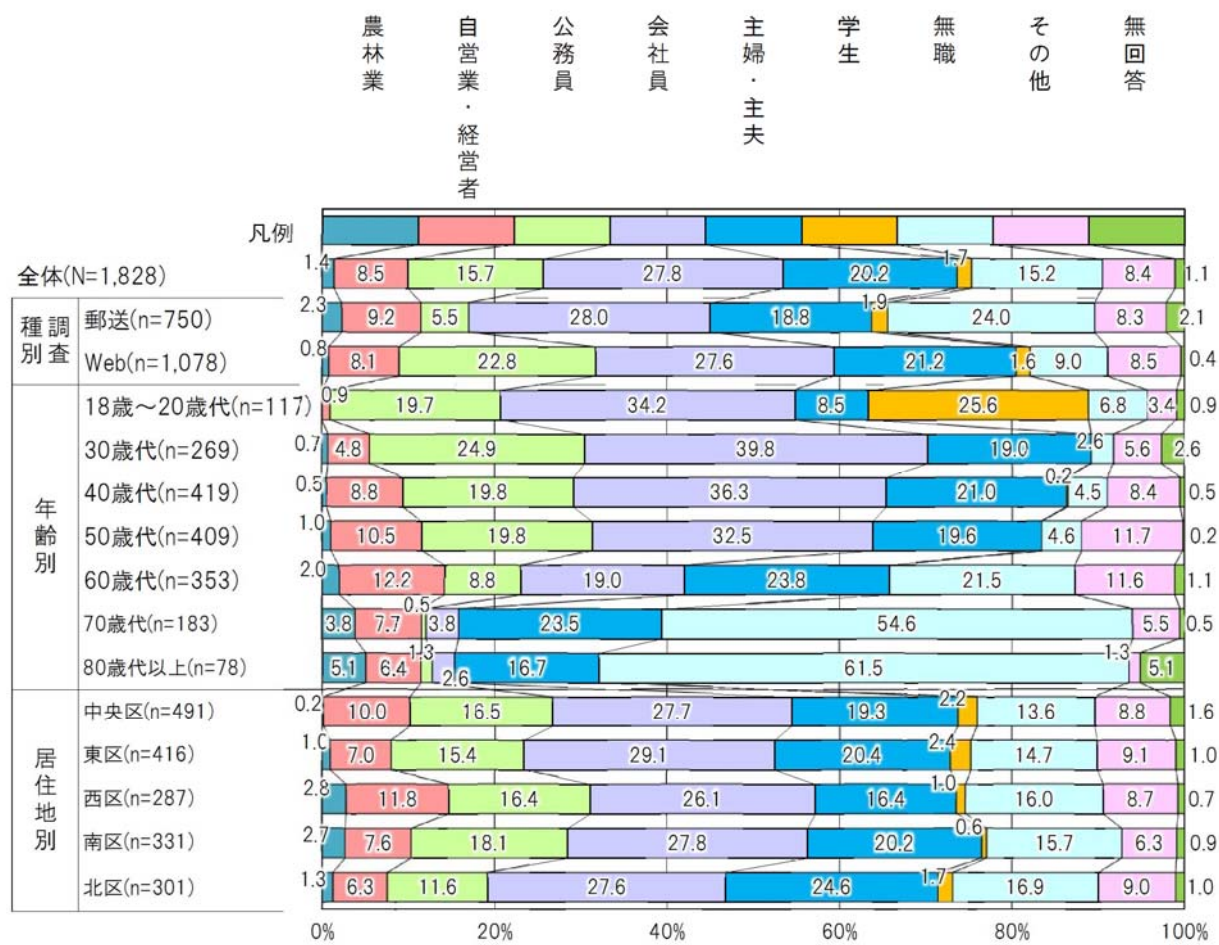


I-5 職業

(該当するものに1つ〇印をつけてください)

- 1_農林業 2_自営業・経営者 3_公務員 4_会社員 5_主婦・主夫 6_学生
 7_無職 8_その他 (_____)

全体：・「会社員」27.8%、「主婦・主夫」20.2%の順に多いです。
 Web：・Webでは、「公務員」が22.8%と多く、「無職」が9.0%と少ない。また、郵送は「公務員」が5.5%と少なく、「無職」は24.0%と多くなっています。
 年齢別：「70歳代」、「80歳代以上」では、無職が54.6%、61.5%と多くなっています。
 居住地別：・「西区」は「自営業・経営者」が11.8%と比較的多くなっています。



II 熊本市全体の緑についておたずねします。

II-1 緑に関心がありますか。

(該当するものに1つ○印をつけてください)

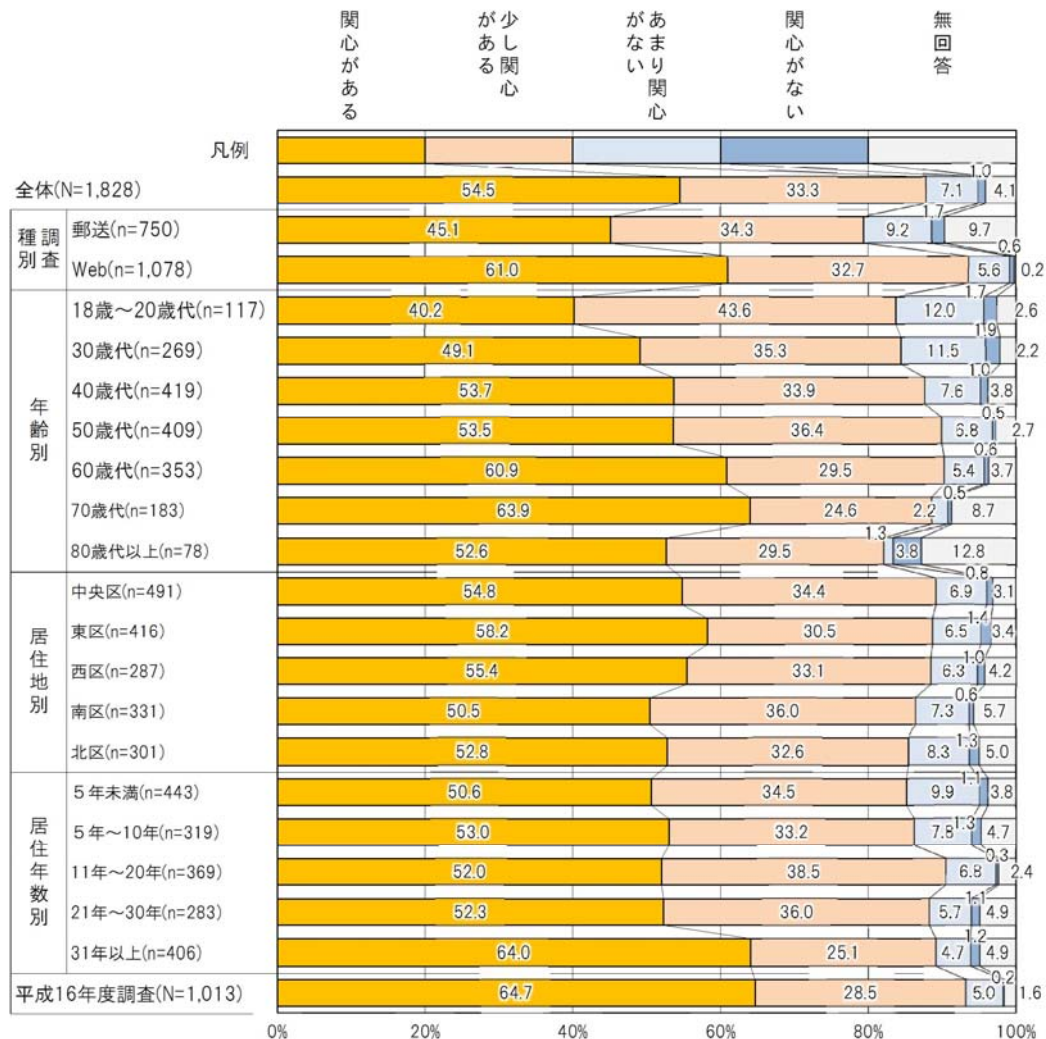
- 1 関心がある
- 2 少し関心がある
- 3 あまり関心がない
- 4 関心がない

※「緑」とは、森林の緑、果樹園や畑、水田の緑、河川の緑、公園の緑、街路樹の緑、学校等の公共施設の緑、生垣や庭木のある住宅の緑、工場や事業所、店舗の緑などです。心身をいやし、健康を増進させ、レクリエーションの場、生物が生育・生息する場を提供するとともに、防災性の向上や観光、賑わい形成に寄与する等、様々な役割を持っています。

全体：・「関心がある」が54.5%、「少し関心がある」が33.3%で、合計87.8%であり、多くの方が緑に関心を持っています。

年齢別：・「関心がある」は、「18歳～20歳代」で40.2%ですが、年齢が上がるほど高くなり、「70歳代」で63.9%でした。「関心がある」、「少し関心がある」の合計は、各年代とも80%を超えています。

平成16年との比較：・多くの方が緑に関心を持っていますが、平成16年度の「関心がある」、「少し関心がある」の合計93.2%と比較して減っています。



Ⅱ-2 熊本市全体の「緑」に対して、どのように感じていますか。

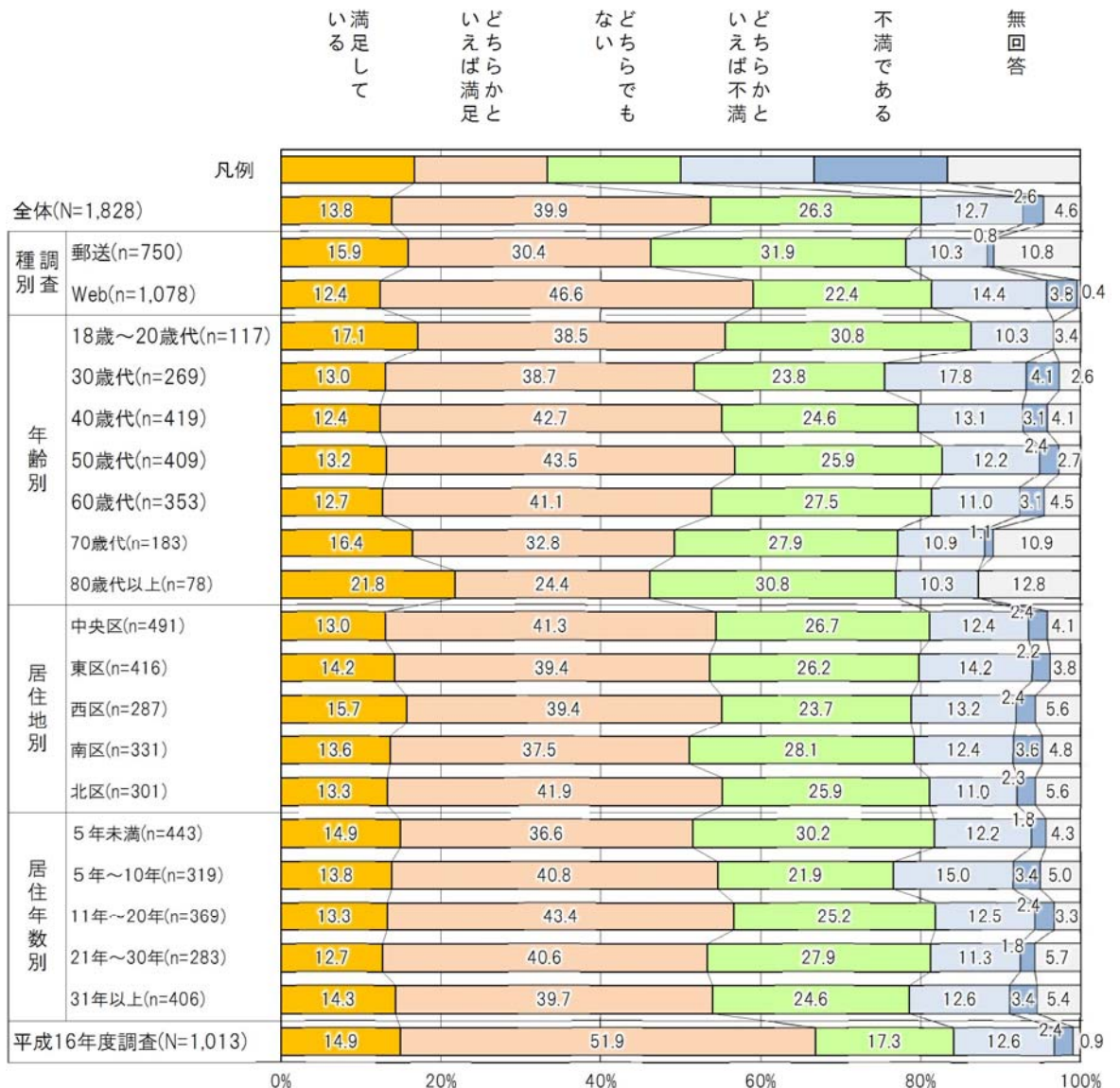
(該当するものに1つ○印をつけてください。また、内容を記入してください。)

1, 2に○の方は、満足している点を記入してください。

4, 5に○の方は、不満な点を記入してください。

- 1 満足している
- 2 どちらかといえば満足
- 3 どちらでもない
- 4 どちらかといえば不満
- 5 不満である

全体：・「満足している」が13.8%、「どちらかといえば満足」が39.9%で、合計53.7%でした。
 「不満である」2.6%、「どちらかといえば不満」が12.7%で、合計15.3%でした。
 平成16年との比較：・「満足している」、「どちらかといえば満足」の合計は、平成16年度66.8%と
 比較して減っています。



Ⅱ-3 熊本市の緑は10年前と比較してどう思いますか。

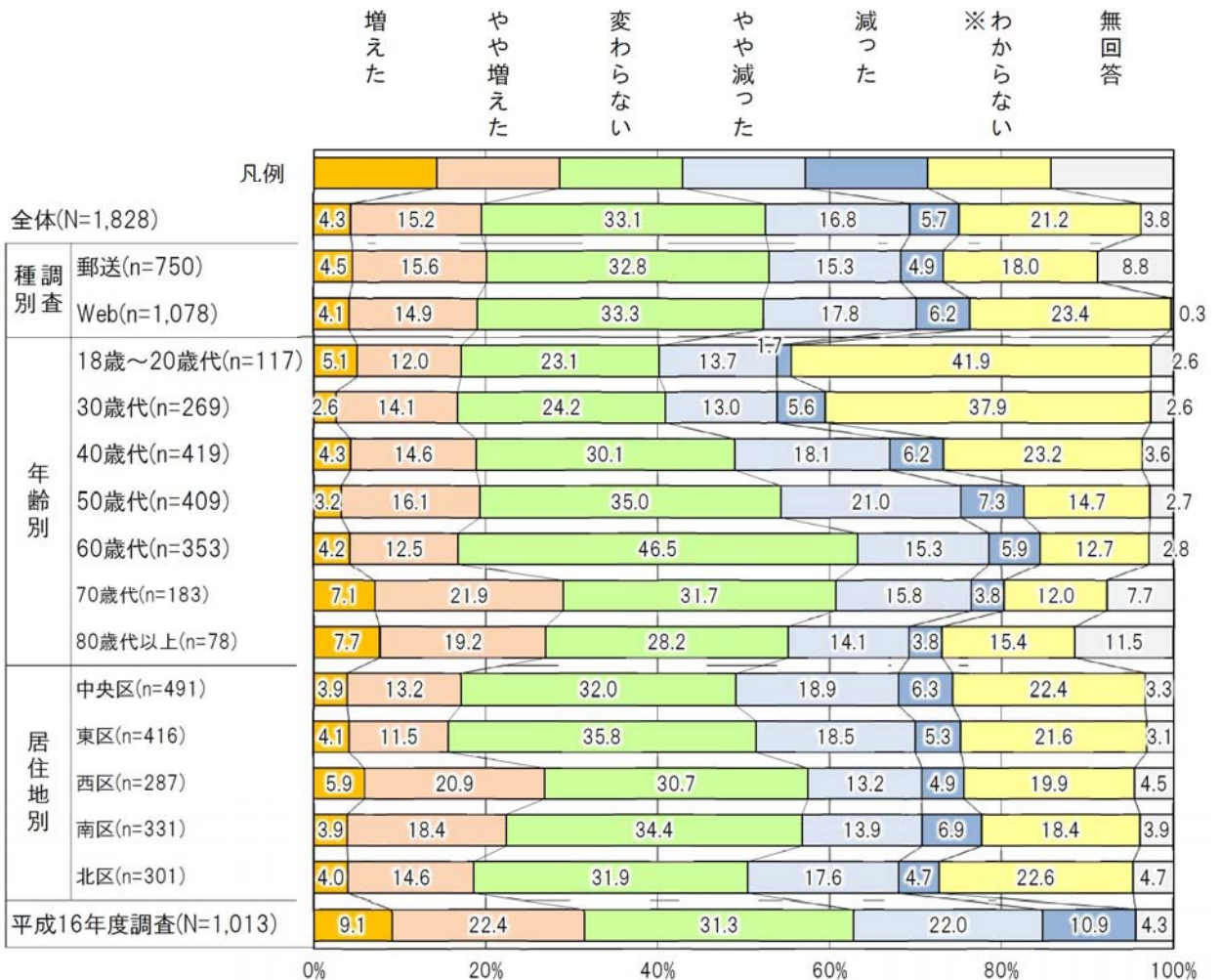
(該当するものに1つ○印をつけてください)

- 1 増えた
- 2 やや増えた
- 3 変わらない
- 4 やや減った
- 5 減った
- 6 わからない

全体：・「変わらない」が33.1%と最も多いです。「増えた」、「やや増えた」の合計は19.5%、「減った」、「やや減った」の合計は22.5%でほぼ同じ割合でした。

年襟別：・「増えた」、「やや増えた」の合計が、「減った」、「やや減った」の合計より多いのは、「70歳以上」、「80歳以上」で、少ないのは、「50歳代」でした。

居住地別：・「増えた」、「やや増えた」の合計が、「減った」、「やや減った」の合計より多いのは「西区」です。少ないのは、「東区」、「中央区」、です。



Ⅱ-4 熊本市らしいと感じる緑はどれですか。

(該当するものに○印をつけてください(複数回答可))

- 1 金峰山系、雁回山等の山々の緑
- 2 熊本城や花岡山等の中心市街地周辺の緑
- 3 立田山、託麻三山等の市街地近郊の山々の緑
- 4 水前寺・江津湖周辺や八景水谷等の水辺の緑
- 5 白川、緑川、加勢川、坪井川、井芹川等の川沿いの緑
- 6 広々とした水田や畑の農地の緑
- 7 その他 ()

※託麻三山とは、神園山、小山山、戸島山の事です。

平成16年度調査

※1「金峰山や本妙寺など西部に広がる山々の緑」

※2「熊本城や立田山など市街地に取り囲まれた緑」

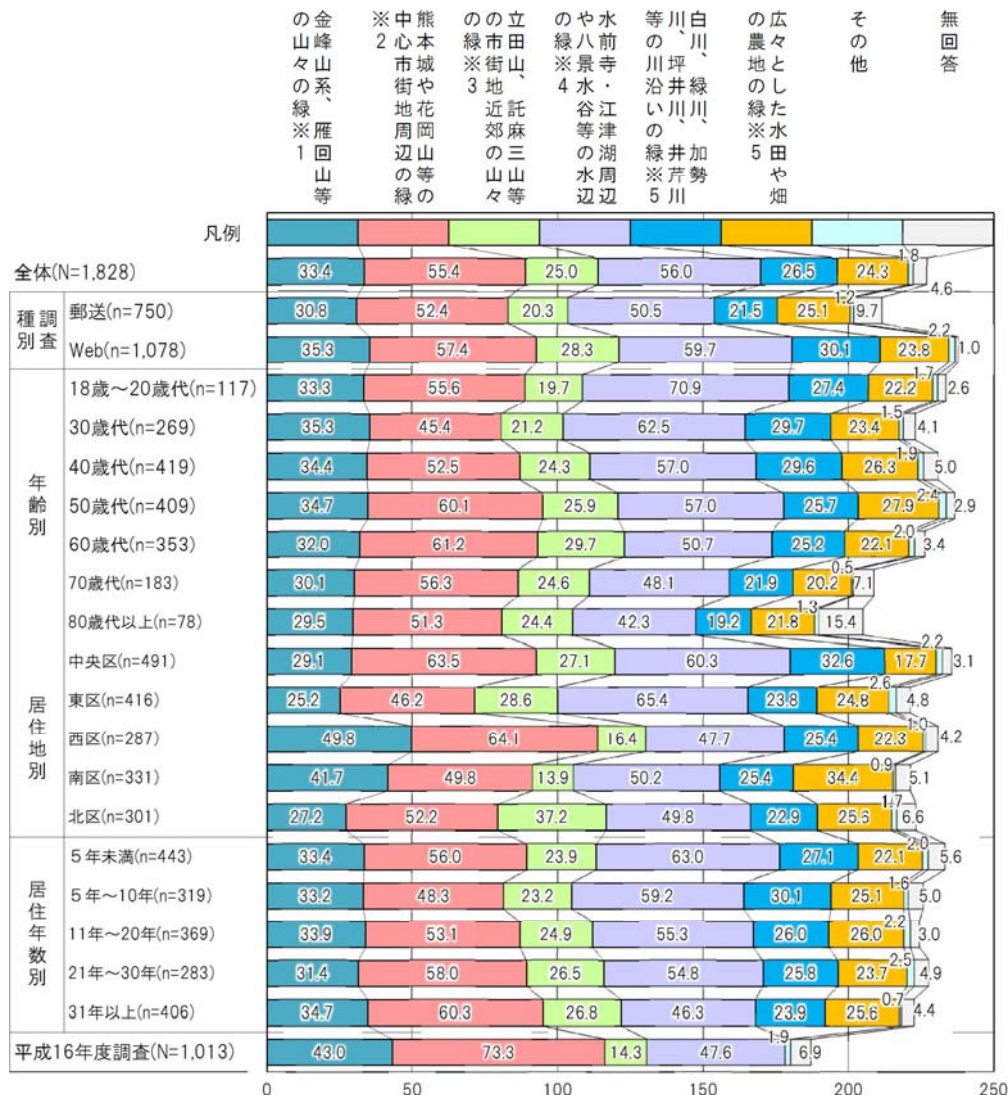
※3「託麻三山や花岡山など市街地近郊の山々の緑」

※4「水前寺・江津湖や八景水谷等の水辺の緑」

※5 平成16年度調査にない項目

全体：・回答が多いのは、「水前寺・江津湖周辺や八景水谷等の水辺の緑」56.0%、「熊本城や花岡山等の中心市街地周辺の緑」55.4%です。

居住地別：・区別に多いのは、「東区」は「水前寺・江津湖周辺や八景水谷等の水辺の緑」65.4%、「西区」は「熊本城や花岡山等の中心市街地周辺の緑」64.1%です。



II-5 中心市街地の「緑」に対してどのように感じていますか。

(それぞれ該当するものに1つ○印をつけてください。また、内容を記入してください。)

※「中心市街地」とは、熊本城周辺、熊本駅周辺に広がる市街地です。

<緑の量について>

- 1 量が多い
- 2 どちらかといえば多い
- 3 ちょうどいい
- 4 どちらかといえば少ない
- 5 少ない

1, 2に○の方は、多いと思う点を記入してください。

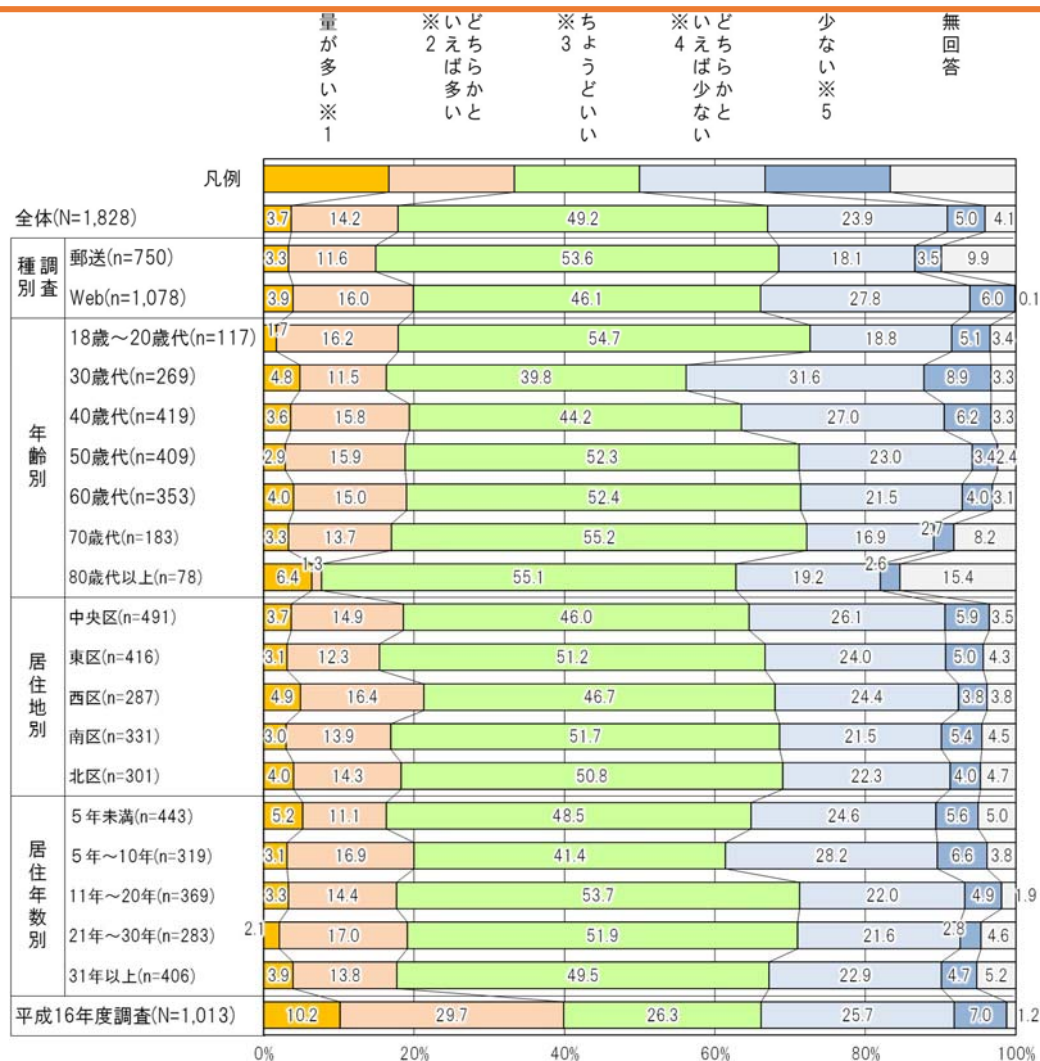
4, 5に○の方は、少ないと思う点を記入してください。

全体：・満足している（「多い」、「どちらかといえば多い」、「ちょうどいい」の合計）は、67.2%です。

年齢別：・満足している（「多い」、「どちらかといえば多い」、「ちょうどいい」）の合計は、「30歳代」で56.1%と低く、「18歳～20歳代」、「70歳代」、「60歳代」は72.6%、72.2%、71.4%と高くなっています。

少ないと思う点：少ない点を記入された376名のうち60名は、熊本駅周辺の緑が少ないと記入しています。

平成16年との比較：・満足している（「多い」、「どちらかといえば多い」、「ちょうどいい」）の合計は、平成16年度の66.2%とほとんど同じです。「多い」、「どちらかといえば多い」は、平成16年度は10.2%、29.7%で、今回、減少しています。



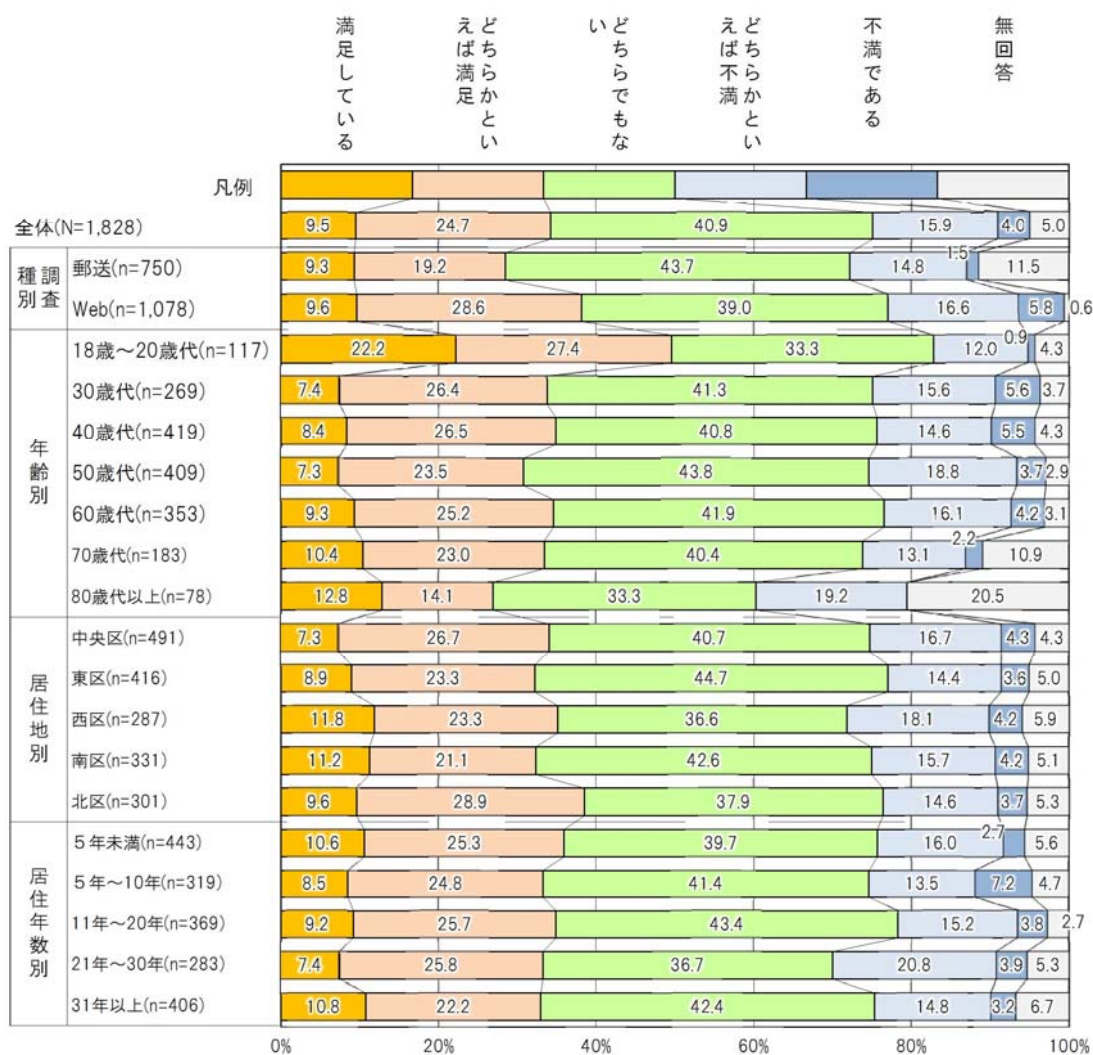
<緑の質について> ※「質」とは、緑による景観、季節感、緑陰、安全性、維持管理等

1, 2に○の方は、満足している点を記入してください。

- 1 満足している
- 2 どちらかといえば満足
- 3 どちらでもない
- 4 どちらかといえば不満
- 5 不満である

4, 5に○の方は、不満な点を記入してください。

全体：・満足している（「満足している」、「どちらかといえば満足」）の合計は、34.2%です。
 年齢別：・満足している（「満足している」、「どちらかといえば満足」）の合計が高いのは、「18歳～20歳代」49.6%です。
 不満な点：不満な点を記入された307のうち109は、維持管理に関する内容を記入しています。



Ⅲ 現在の居住地周辺の緑についておたずねします。

Ⅲ-1 お住まいの周りの「緑」に対してどのように感じていますか。

(それぞれ該当するものに1つ○印をつけてください。また、内容を記入してください。)

<緑の量について>

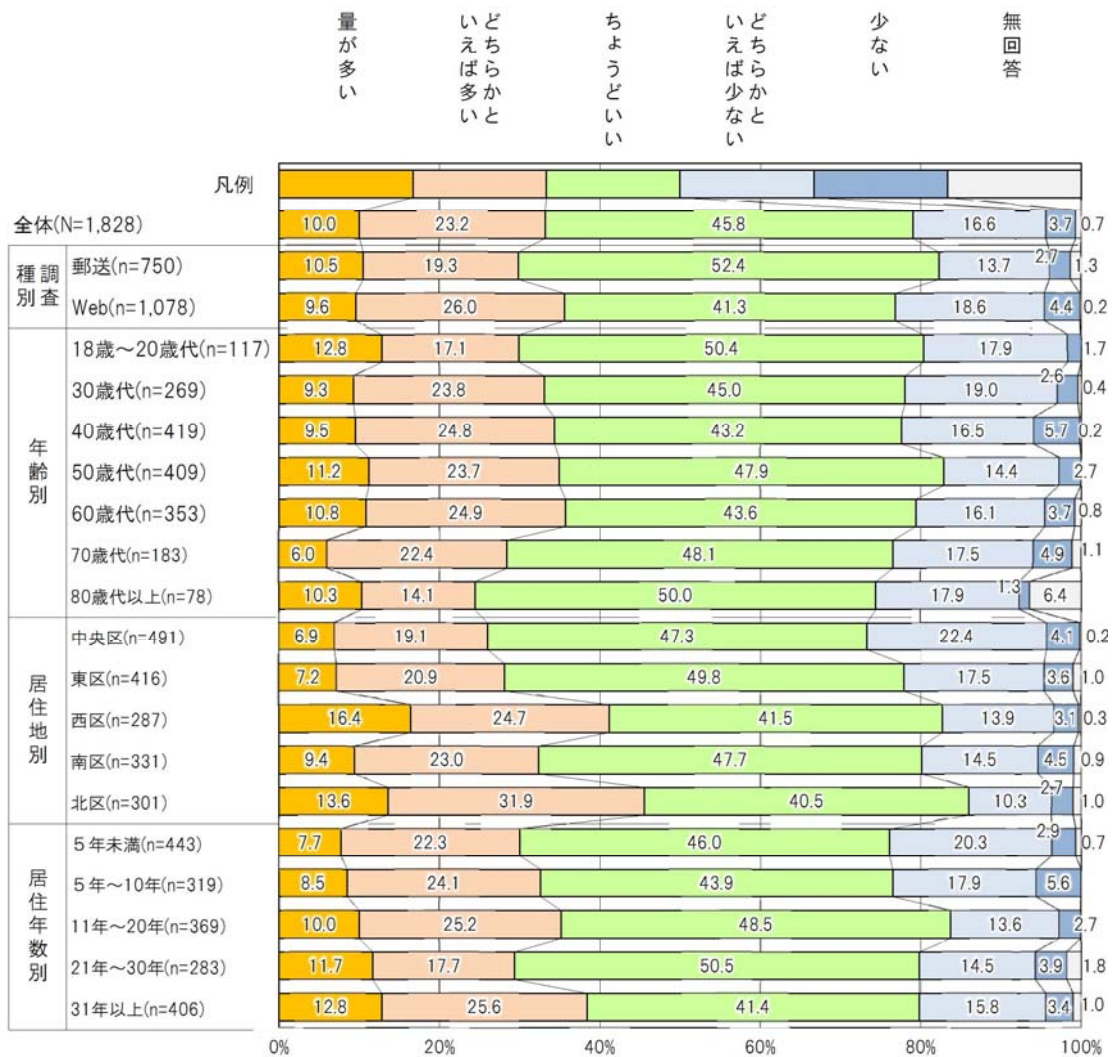
- 1 量が多い
- 2 どちらかといえば多い
- 3 ちょうどいい
- 4 どちらかといえば少ない
- 5 少ない

1, 2に○の方は、多いと思う点を記入してください。

4, 5に○の方は、少ないと思う点を記入してください。

全体：・満足している（「多い」、「どちらかといえば多い」、「ちょうどいい」の合計）は、79.0%です。

居住地別：・満足している（「多い」、「どちらかといえば多い」、「ちょうどいい」）の合計は、「北区」で86.0%と高く、「中央区」では73.3%と低くなっています。



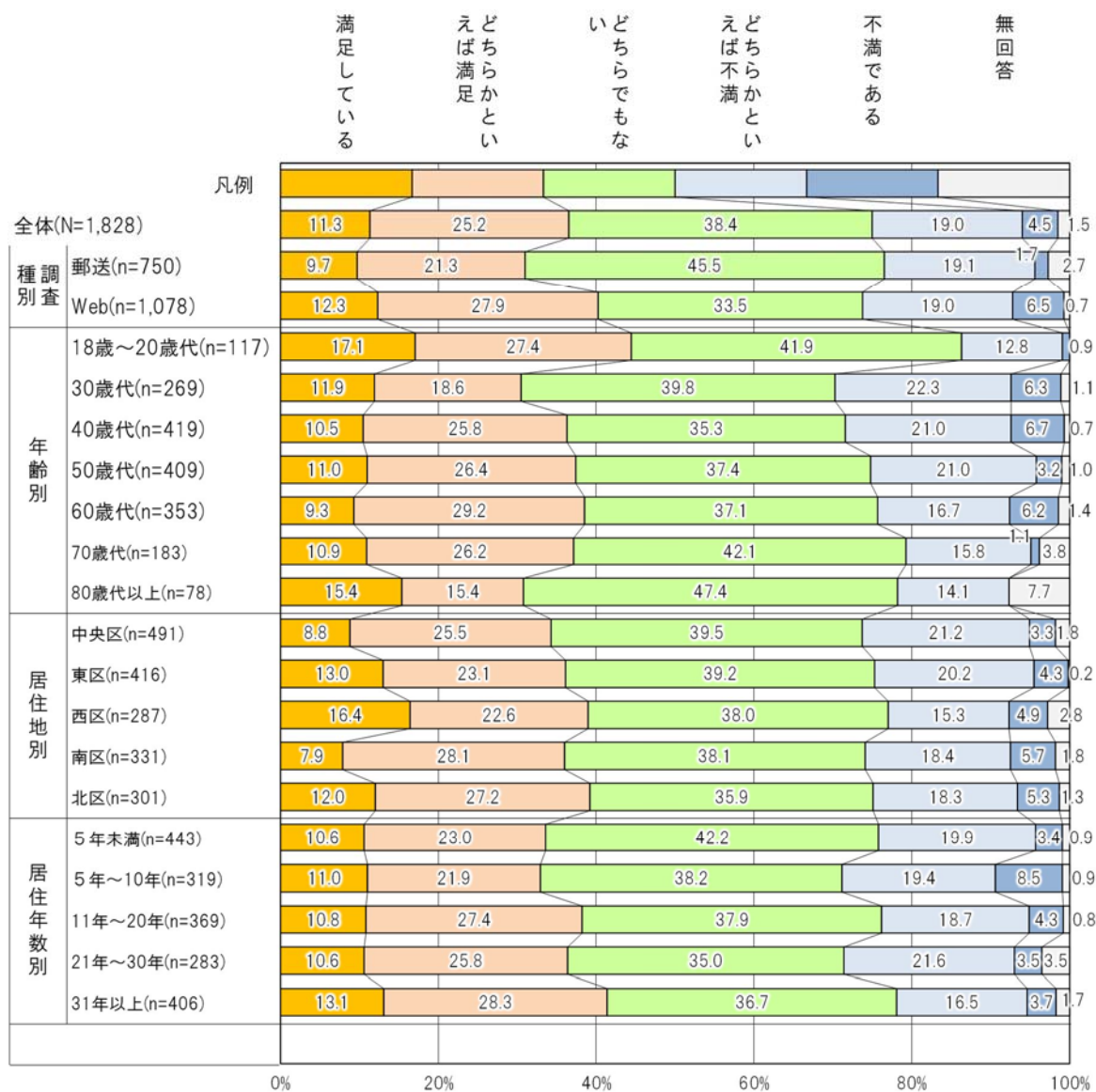
<緑の質について> ※「質」とは、緑による景観、季節感、緑陰、安全性、維持管理等

1, 2に○の方は、満足している点を記入してください。

- 1 満足している
- 2 どちらかといえば満足
- 3 どちらでもない
- 4 どちらかといえば不満
- 5 不満である

4, 5に○の方は、不満な点を記入してください。

全体：・満足している（「満足している」、「どちらかといえば満足」）の合計は、36.5%です。
 年齢別：・満足している（「満足している」、「どちらかといえば満足」）の合計は、「18歳～20歳代」は44.5%と高く、「30歳代」、「80歳代」は30.5%、30.8%と低いです。



Ⅲ-2 お住まいの近くで緑を感じる場所はどこですか。

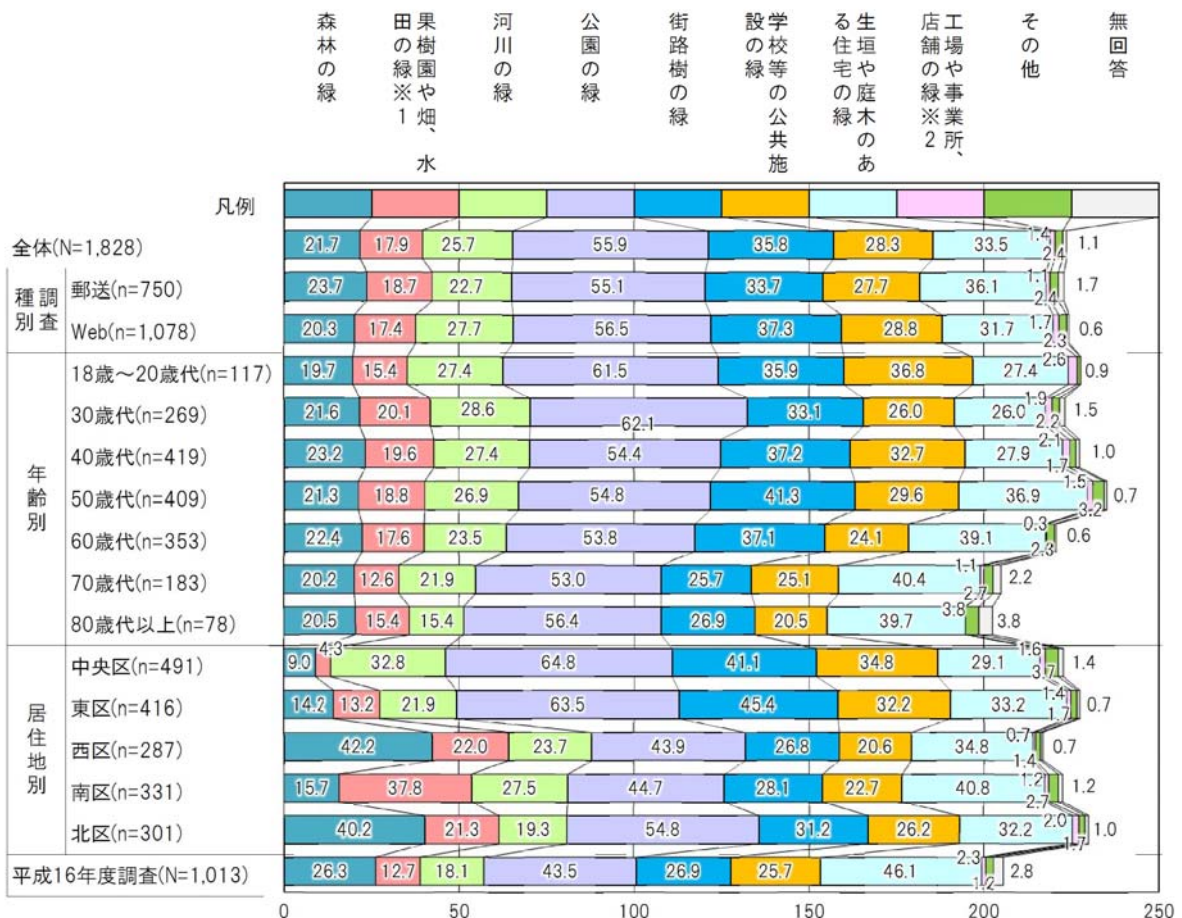
(該当するものに○印をつけてください(複数回答可))

- 1 森林の緑
- 2 果樹園や畑、水田の緑
- 3 河川の緑
- 4 公園の緑
- 5 街路樹の緑
- 6 学校等の公共施設の緑
- 7 生垣や庭木のある住宅の緑
- 8 工場や事業所、店舗の緑
- 9 その他 ()

全体：・緑を感じる場所で最も多いのは、「公園の緑」55.9%で、多い順に、「街路樹の緑」35.8%、「生垣や庭木のある住宅の緑」33.5%、「学校等の公共施設の緑」28.3%、「河川の緑」25.7%です。

居住地エリア別：・上記の緑に加えて、「西区」、「北区」は、「森林の森」、「果樹園や畑、水田の緑」が、「南区」は「果樹園や畑、水田の緑」が、住まいの近くの緑を感じる場所になっています。

平成16年との比較：・平成16年度と比較して増加が大きいのは、「公園の緑」、「街路樹の緑」で、減少が大きいのは、「工場や事業所、店舗の緑」です。



※1 平成16年度調査では「果樹園や畑の緑」
 ※2 平成16年度調査では「工場や事業所の緑」

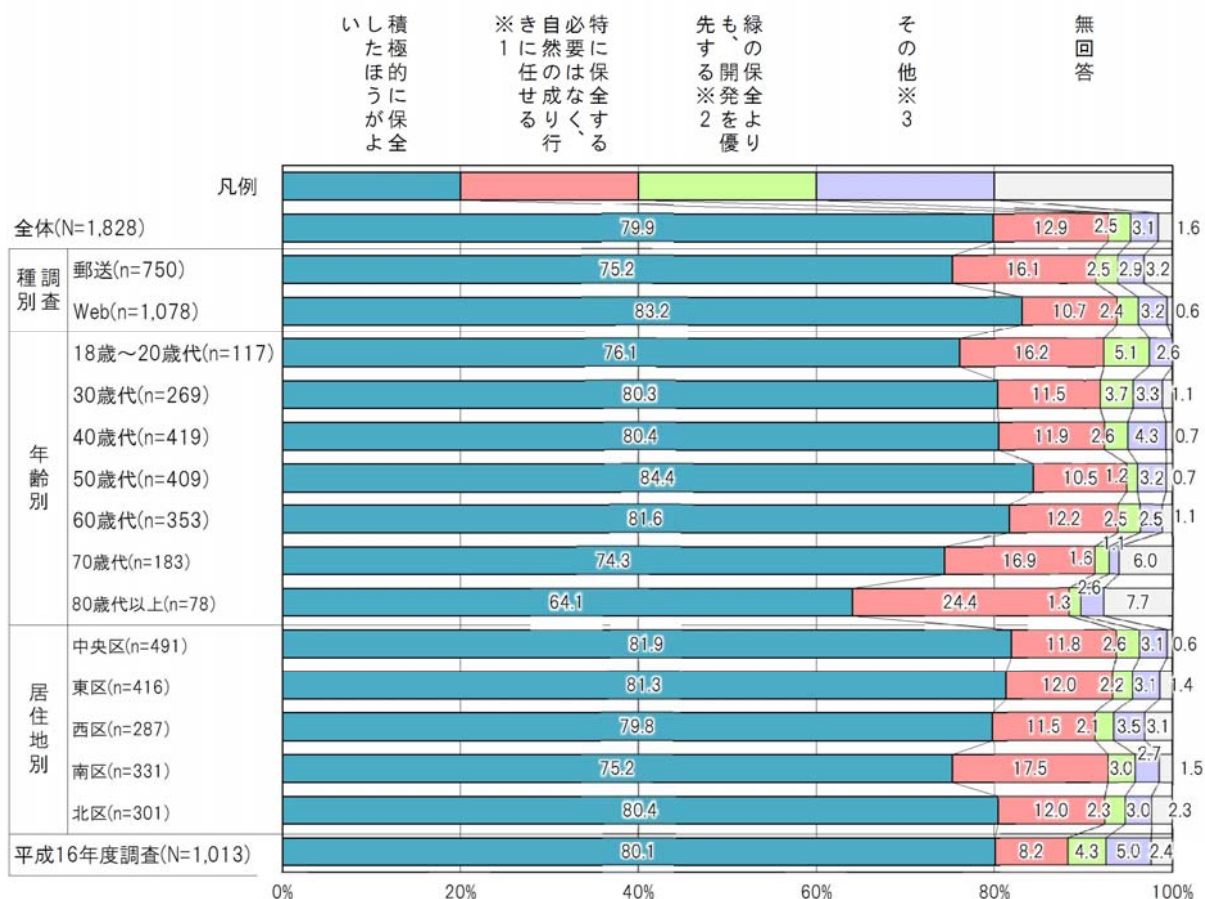
IV 緑の将来像についておたずねします。

IV-1 熊本市全体の「緑」の保全について、どのようにお考えですか。

(該当するものに1つ○印をつけてください)

- 1 積極的に保全したほうがよい
- 2 特に保全する必要はなく、自然の成りに任せる
- 3 緑の保全よりも、開発を優先する
- 4 その他 (_____)

全体：・「積極的に保全したほうがよい」が最も多く、79.9%です。「緑の保全よりも開発を優先する」は少なく、2.5%です。
 年齢別：・「80歳代」では、「特に保全する必要はなく、自然の成りに任せる」が他の年齢と比較して多くなっています。
 平成16年との比較：・ほとんど、同じ傾向です。



※1 平成16年度調査では「特に保全する必要がない」
 ※2 平成16年度調査では「都市の成長を重視し開発を優先」
 ※3 平成16年度調査では「わからない」

IV-2 熊本市で緑を重点的に保全していくべき場所はどこだと思いますか。

(該当するものに○印をつけてください(複数回答可))

- 1 金峰山系、雁回山等の山々の緑
- 2 熊本城や花岡山等の中心市街地周辺の緑
- 3 立田山、託麻三山等の市街地近郊の山々の緑
- 4 市街地に残る斜面の緑
- 5 水前寺・江津湖周辺や八景水谷等の水辺の緑
- 6 白川、緑川、加勢川、坪井川、井芹川等の川沿いの緑
- 7 貴重な動植物の生息・生育する緑
- 8 災害の防止に寄与する緑
- 9 お寺や神社の緑
- 10 その他 ()

※託麻三山とは、神園山、小山山、戸島山のことで。

平成 16 年度調査

※1「金峰山系の山々の緑」

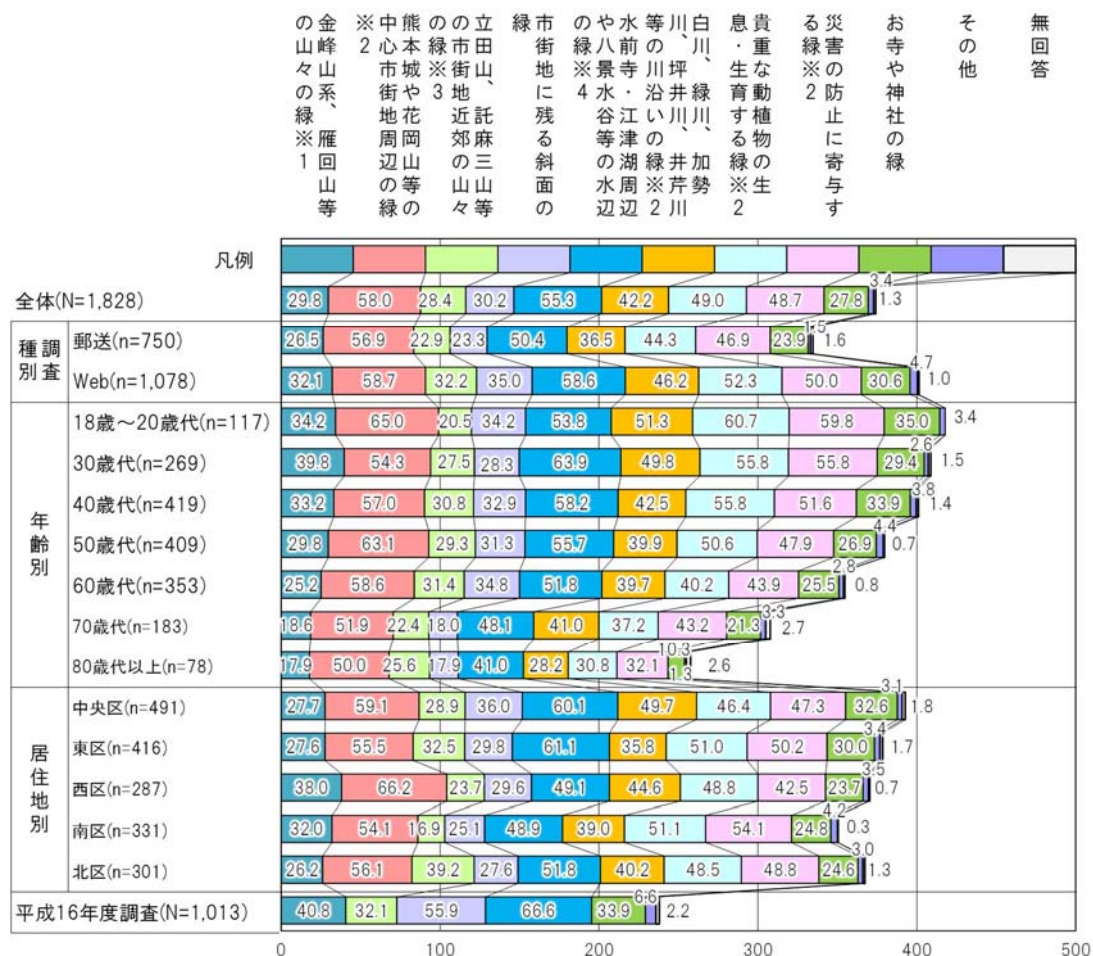
※2 平成 16 年度調査にはない項目

※3「託麻三山や花岡山など市街地近郊」

※4「水前寺・江津湖や白川などの水辺の緑」

全体：・「熊本城や花岡山等の中心市街地周辺の緑」、「水前寺・江津湖周辺や八景水谷等の水辺の緑」が多く 58.0%、55.3%でした。「貴重な動植物の生息・生育する緑」、「災害の防止に寄与する緑」も関心が高く 49.0%、48.7%でした。

年齢別：・「貴重な動植物の生息・生育する緑」、「災害の防止に寄与する緑」を重点的に保全していくべきとするのは、年齢が若いほど割合が多くなります。

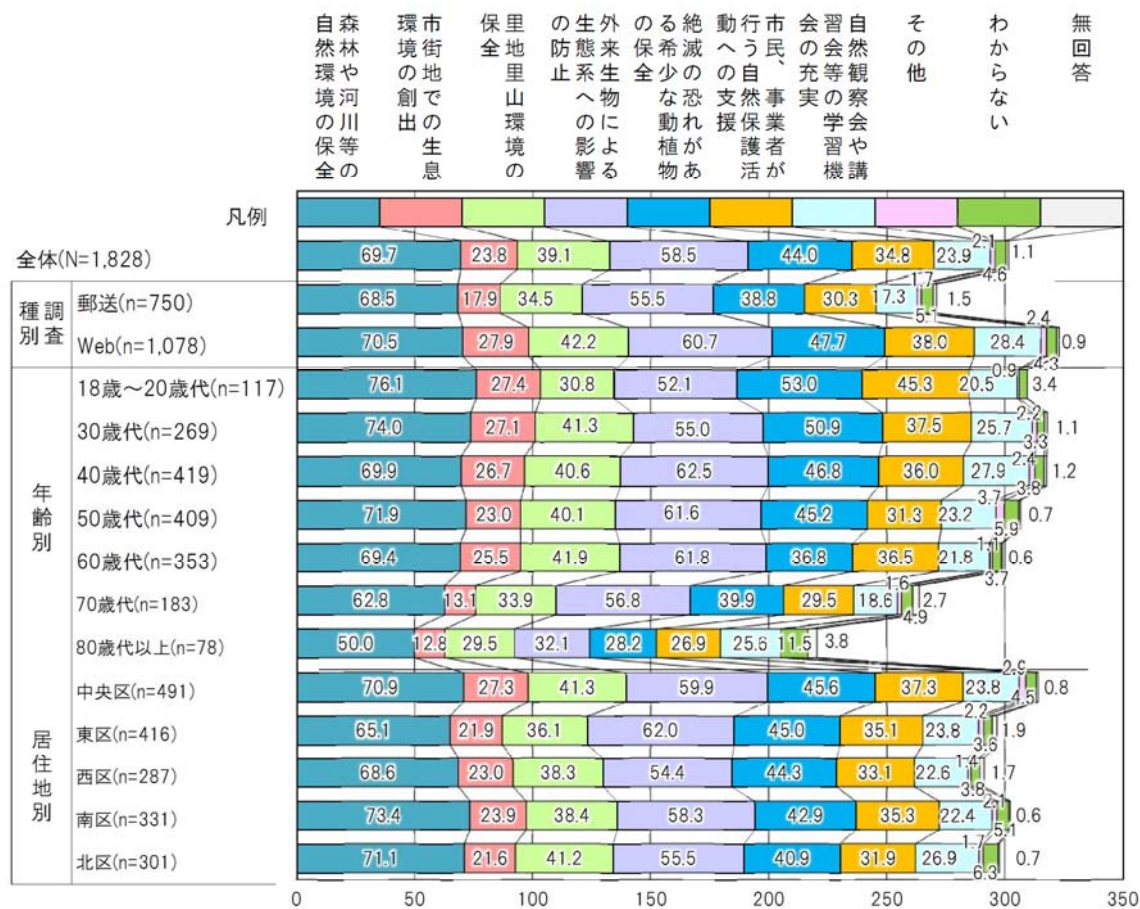


IV-3 多様な生物の生息環境を確保するために、どのような取組を進めることが望ましいと
 思いますか。 (該当するものに○印をつけてください(複数回答可))

- 1 森林や河川等の自然環境の保全
- 2 市街地での生息環境の創出
- 3 里地里山環境の保全
- 4 外来生物による生態系への影響の防止
- 5 絶滅の恐れがある希少な動植物の保全
- 6 市民、事業者が行う自然保護活動への支援
- 7 自然観察会や講習会等の学習機会の充実
- 8 その他 ()
- 9 わからない

※里地里山とは、原生的な自然と都市との中間に位置し、集落とそれを取り巻く二次林、それらと混在する農地、ため池、草原等で構成される地域です。
 ※外来生物とは、海外から我が国に導入されることによりその本来の生息地又は生育地の外に存することとなる生物のことです。

全体：・「森林や河川等の自然環境の保全」が69.7%と最も多く、次に多いのは「外来生物による生態系への影響の防止」58.5%など、様々な取り組みが回答されています。
 年齢別：・年齢が若いほど、「絶滅の恐れがある希少な動植物の保全」、「市民、事業者が行う自然保護活動への支援」の取り組みが望ましいとする割合が、多くなっています。



IV-4 あなたは、「グリーンインフラ」について知っていますか。

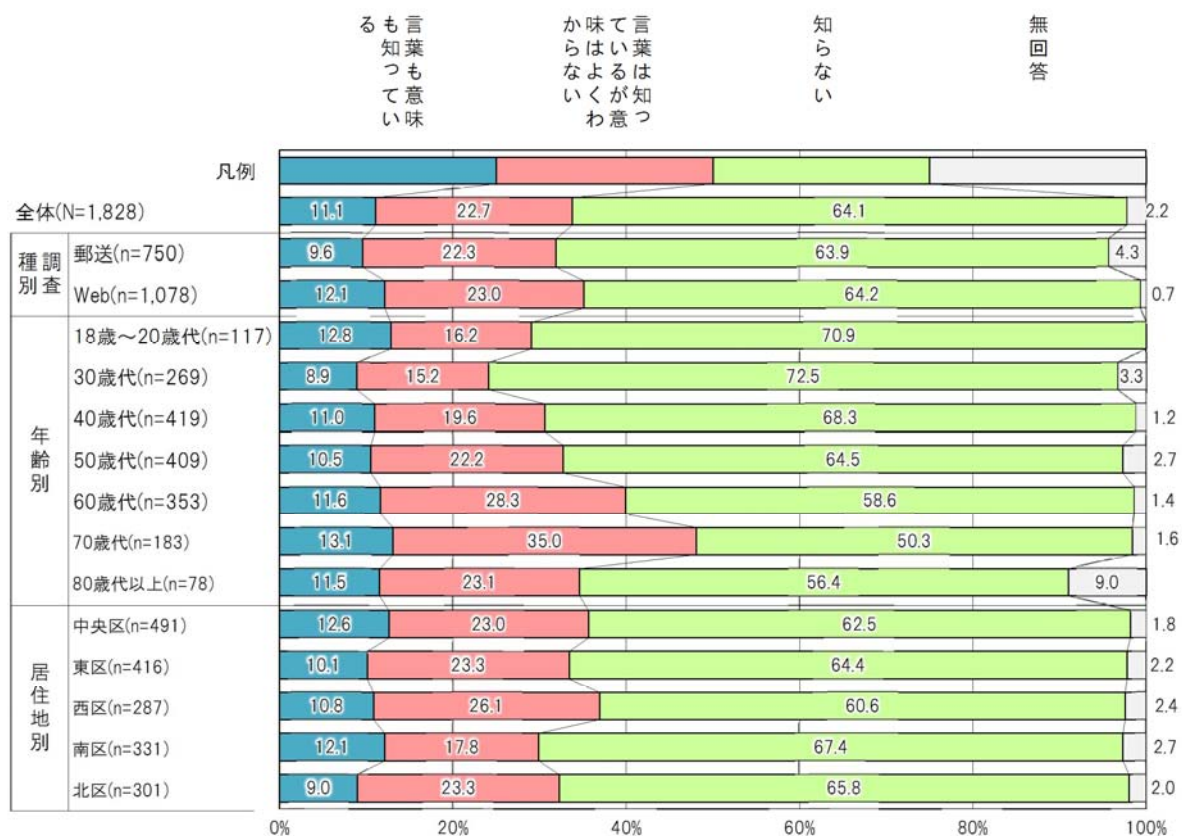
(該当するものに1つ○印をつけてください)

- 1 言葉も意味も知っている
- 2 言葉は知っているが意味はよくわからない
- 3 知らない

※「グリーンインフラ」とは、自然環境が有する多様な機能（生物の生息の場の提供、良好な景観形成、気温上昇の抑制等）を活用し、持続可能で魅力ある国土づくりや地域づくりを進めるものです。

全体：・「知らない」が最も多く64.1%、「言葉は知っているが意味はよくわからない」が22.3%であった。

年齢別：・「言葉も意味も知っている」割合は、各年齢ともに約10%であるが、「言葉は知っているが意味はよくわからない」割合は、年齢が高いほど多くなります。



V 市街地の緑に関する将来像についておたずねします。

V-1 熊本市の市街地の「緑」の将来像についてどのように思いますか。

(該当するものに1つ○印をつけてください)

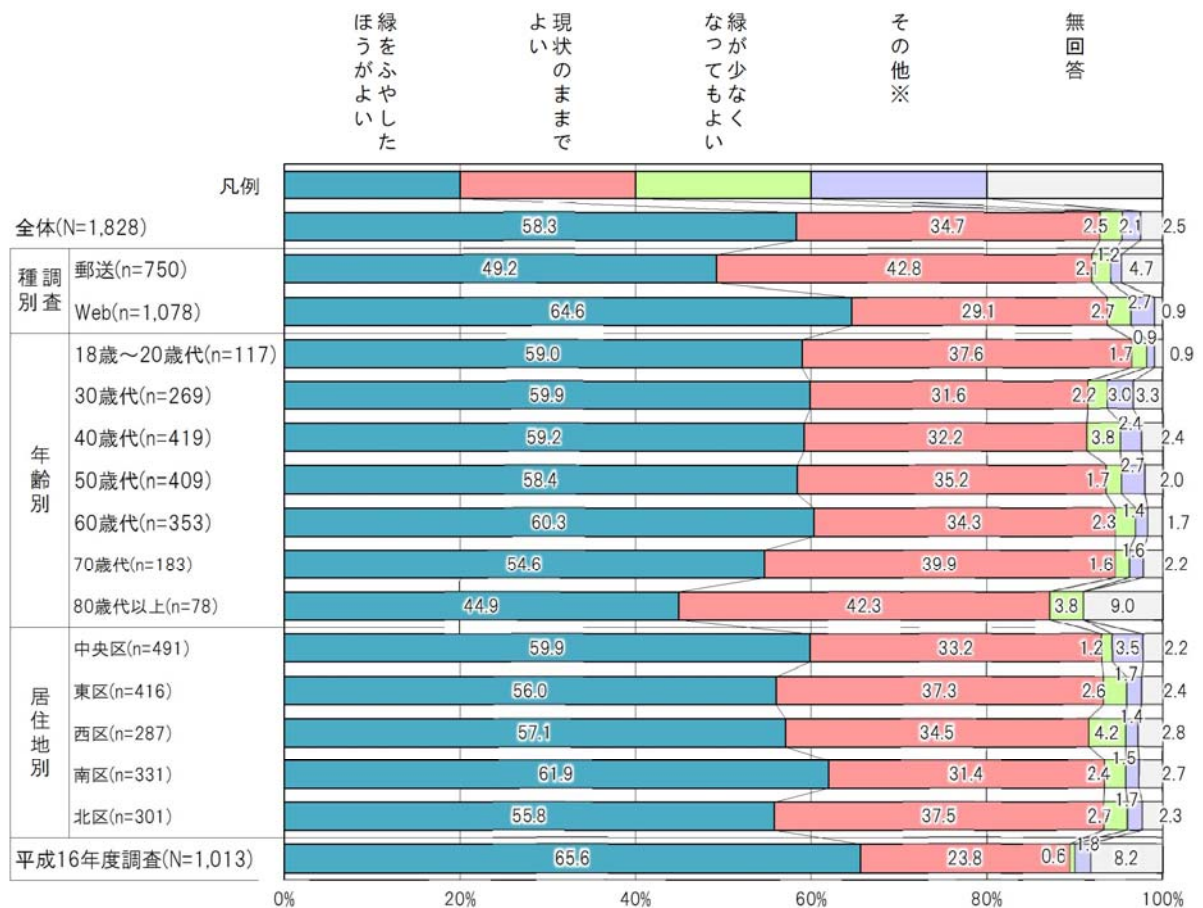
※「市街地」とは、住宅や商業施設等の建物が立ち並んでいる地域です。

- 1 緑をふやしたほうがよい
- 2 現状のままでよい
- 3 緑が少なくなってもよい
- 4 その他 (_____)

全体：・「緑を増やしたほうがよい」58.3%、「現状のままでよい」が34.7%です。

Web：・「緑を増やしたほうがよい」が64.6%と多く、「現状のままでよい」が29.1%です。

平成16年との比較：・「緑を増やしたほうがよい」は、平成16年度は65.6%であり、減少しています。



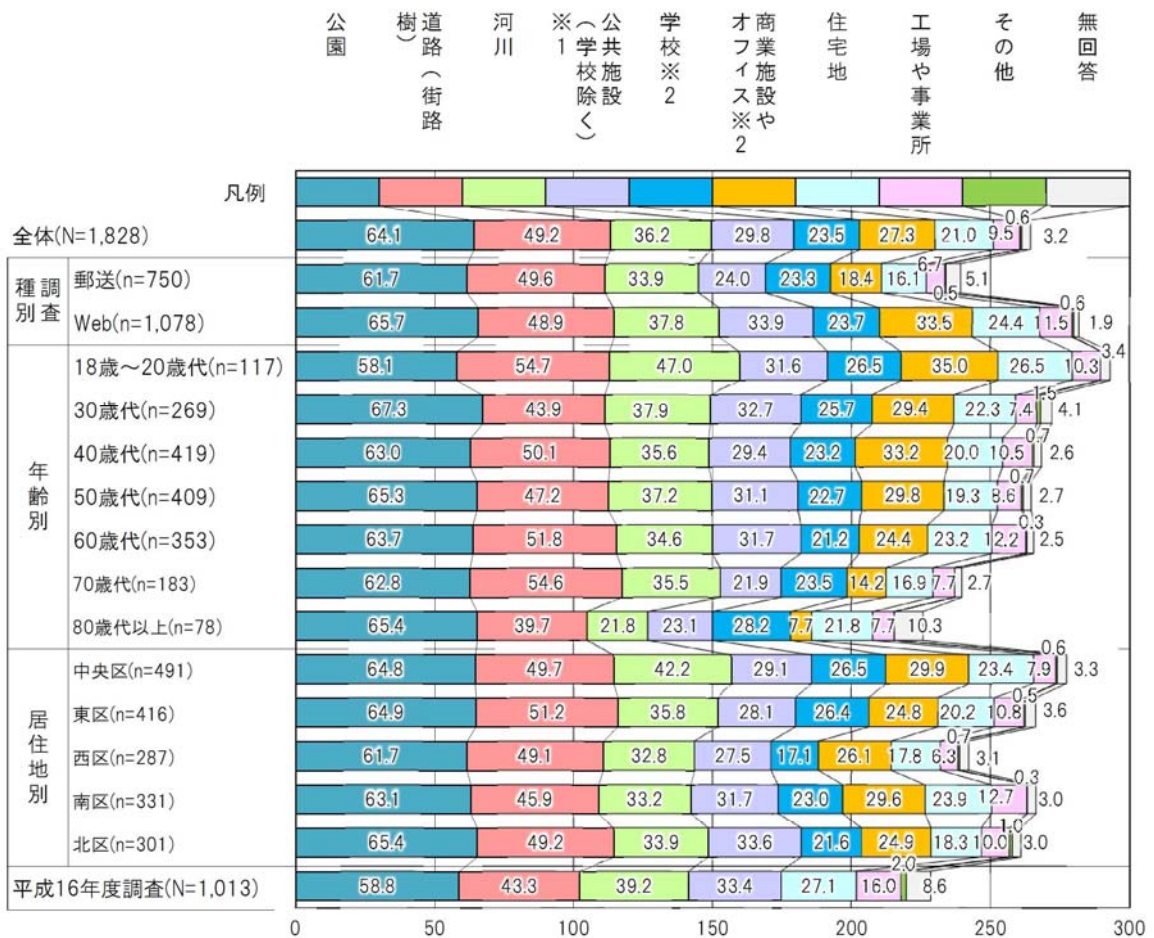
※平成16年度調査では「わからない」

V-2 熊本市の市街地で、緑に関する施策を重点的に実施すべき場所はどこだと思いますか。(該当するものに○印をつけてください(複数回答可))

- 1 公園
- 2 道路(街路樹)
- 3 河川
- 4 公共施設(学校除く)
- 5 学校
- 6 商業施設やオフィス
- 7 住宅地
- 8 工場や事業所
- 9 その他()

全体：・「公園」が64.1%と最も多く、多い順に「街路樹」49.2%、「河川」36.2%、「公共施設(学校除く)」29.8%、「学校」23.5%です。

居住地別：・居住地別にみても傾向は全体と同じですが、「中央区」では「河川」、「商業施設やオフィス」の割合が他の区と比べて多く、また、「西区」では、「学校」の割合が少なくなっています。



※1 平成16年度調査では「公共施設〔学校など〕」
 ※2 平成16年度調査にはない項目

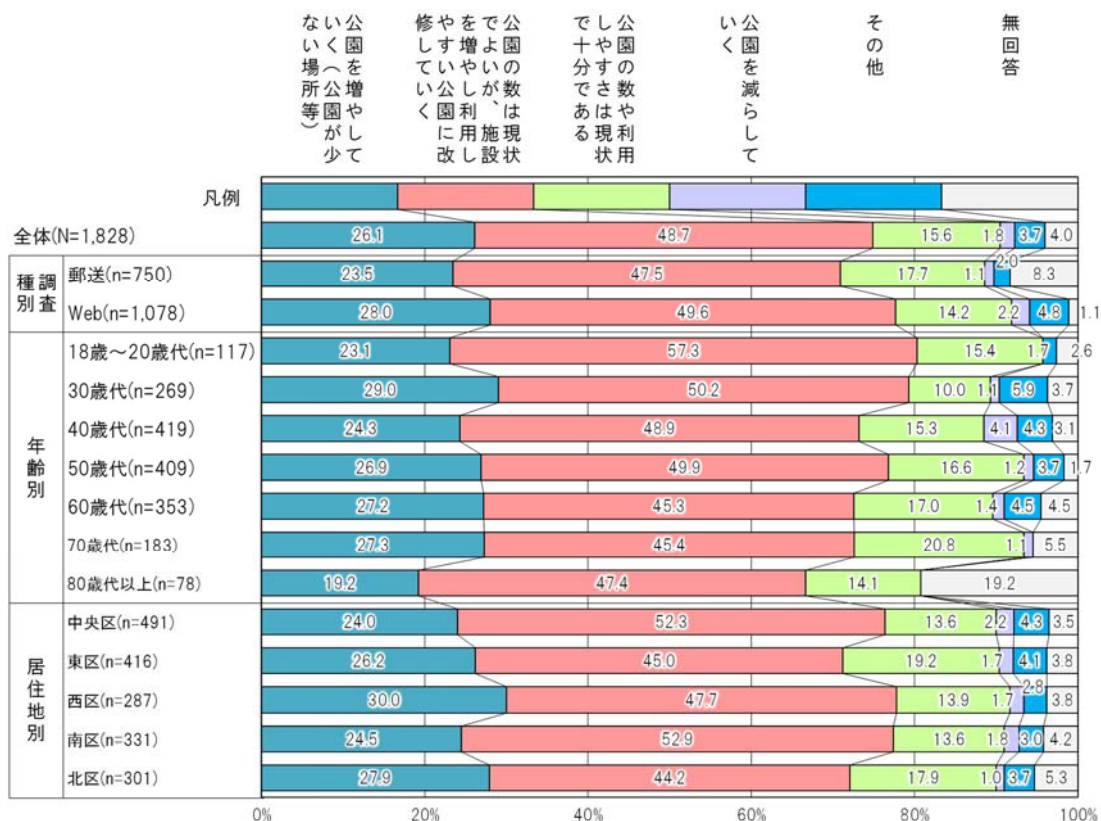
VI 公園、街路樹についておたずねします。

VI-1 熊本市の「公園」についてどのようにしていくことが望ましいと思いますか。

(該当するものに1つ○印をつけてください)

- 1 公園を増やしていく(公園が少ない場所等)
- 2 公園の数は現状でよいが、施設を増やし利用しやすい公園に改修していく
- 3 公園の数や利用しやすさは現状で十分である
- 4 公園を減らしていく
- 5 その他 (_____)

全体：・「公園の数は現状でよいが施設を増やし利用しやすい公園に改修していく」が最も多く48.7%であり、「公園を増やしていく(公園が少ない場所等)」も次に多く23.5%です。
 居住地別：・各区ともに最も多いのは、「公園の数は現状でよいが施設を増やし利用しやすい公園に改修していく」ですが、「公園を増やしていく(公園が少ない場所等)」が「西区」30.0%、「北区」27.9%と他の区と比較して多くなっています。

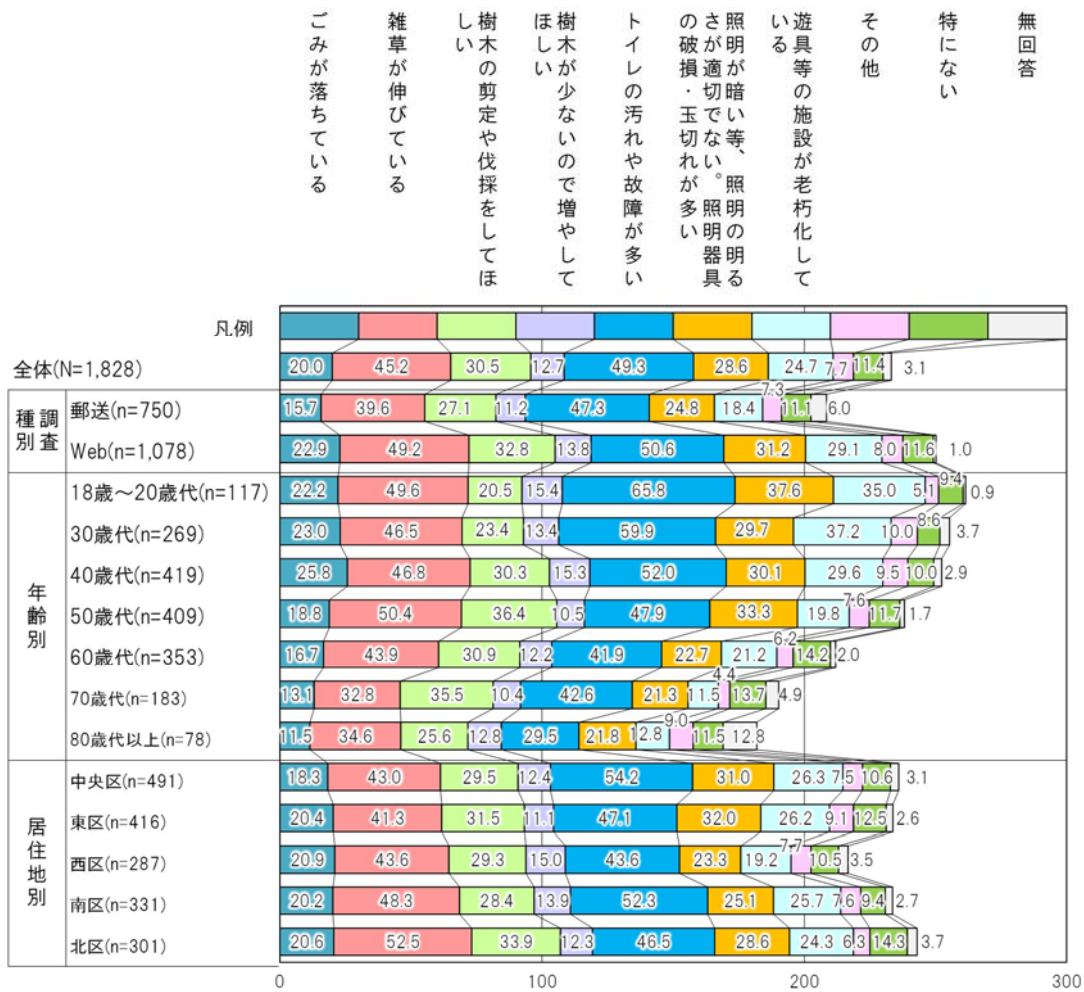


VI-2 公園の維持管理について、不満に感じていることは何ですか。

(該当するものに○印をつけてください(複数回答可))

- 1 ごみが落ちている
- 2 雑草が伸びている
- 3 樹木の剪定や伐採をしてほしい
- 4 樹木が少ないので増やしてほしい
- 5 トイレの汚れや故障が多い
- 6 照明が暗い等、照明の明るさが適切でない。照明器具の破損・玉切れが多い
- 7 遊具等の施設が老朽化している
- 8 その他 ()
- 9 特にない。

全体：・「トイレの汚れや故障が多い」49.3%、「雑草が伸びている」45.2%が比較的多く、その他の回答も多くみられました。

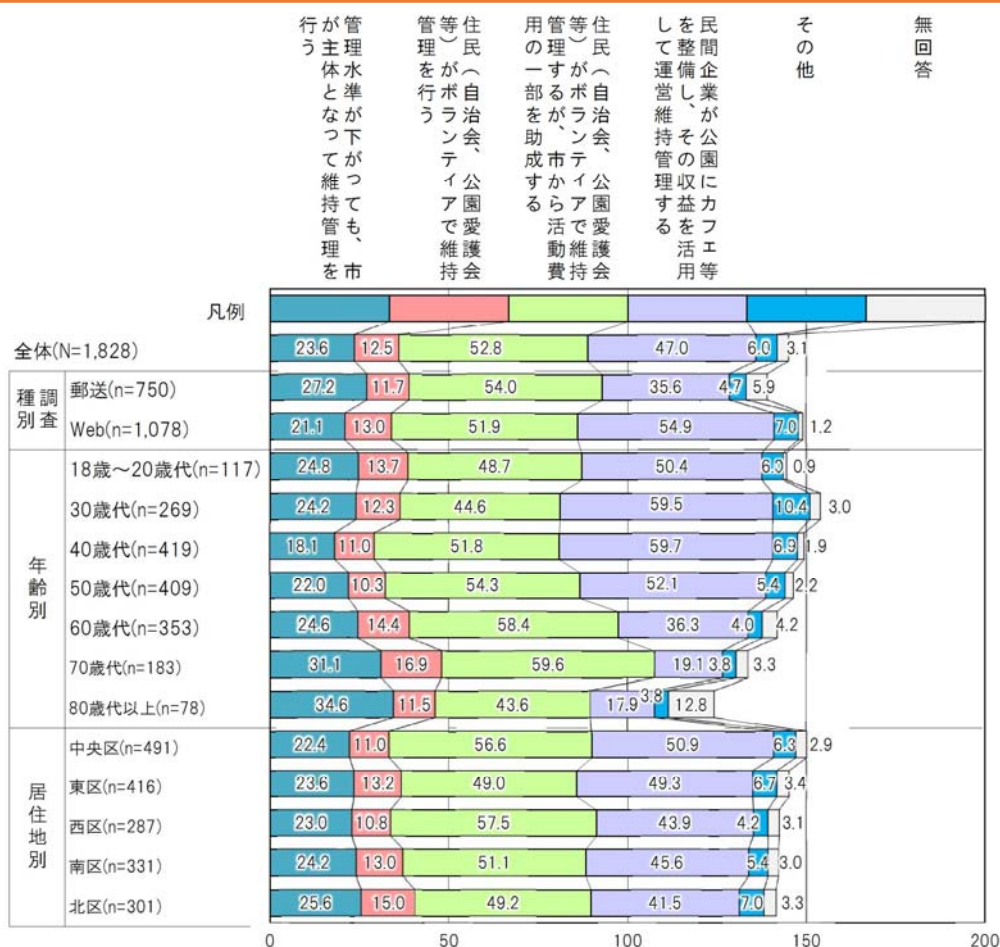


VI-3 現在、熊本市の公園は1,000箇所以上あり、今後も宅地の開発に伴い増えていくと予想されます。一方、人口は減少していくことが予想され、現状の公園の維持管理水準を確保することは難しい状況です。今後、公園の運営維持管理についてどのようなことを進めたらよいと思いますか。

(該当するものに○印をつけてください(複数回答可))

- 1 管理水準が下がっても、市が主体となって維持管理を行う
- 2 住民(自治会、公園愛護会等)がボランティアで維持管理を行う
- 3 住民(自治会、公園愛護会等)がボランティアで維持管理するが、市から活動費用の一部を助成する
- 4 民間企業が公園にカフェ等を整備し、その収益を活用して運営維持管理する
- 5 その他()

全体：・回答が多いのは、「住民がボランティアで維持管理するが市から活動費用の一部を助成する」52.8%や、「民間企業が公園にカフェ等を整備し、その収益を活用して運営維持管理する」47.0%です。「管理水準が下がっても、市が主体となって維持管理を行う」は23.6%と少ないです。

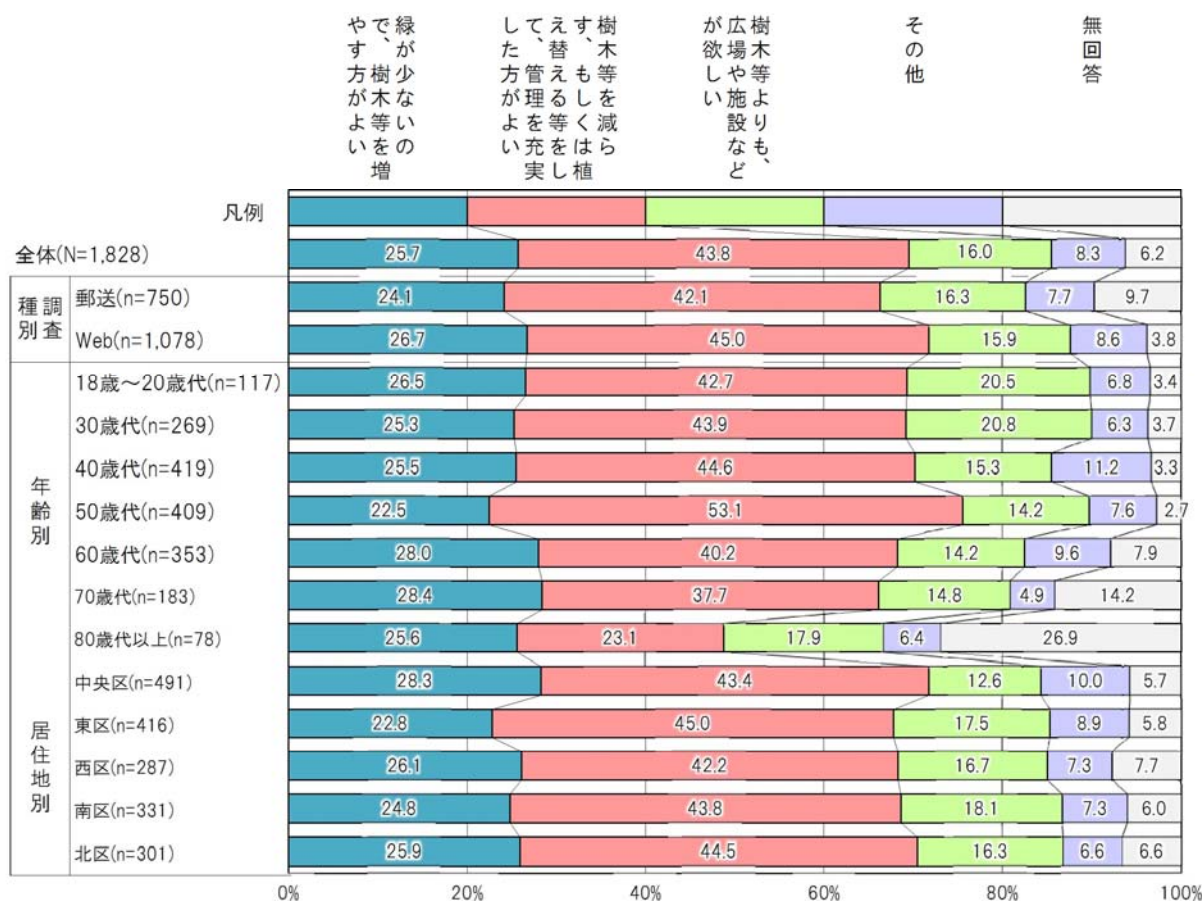


VI-4 公園の「緑」についてどのようにしていくことが望ましいと思いますか。

(該当するものに1つ○印をつけてください)

- 1 緑が少ないので、樹木等を増やす方がよい
- 2 樹木等を減らす、もしくは植え替える等をして、管理を充実した方がよい
- 3 樹木等よりも、広場や施設などが欲しい
- 4 その他 (_____)

全体：・「樹木等を減らす、もしくは植え替える等をして、管理を充実した方がよい」が最も多く、43.8%でした。「緑が少ないので、樹木等を増やす方がよい」は25.7%、「樹木等よりも、広場や施設などが欲しい」は16.0%です。多くの公園での緑の管理の充実が求められています。



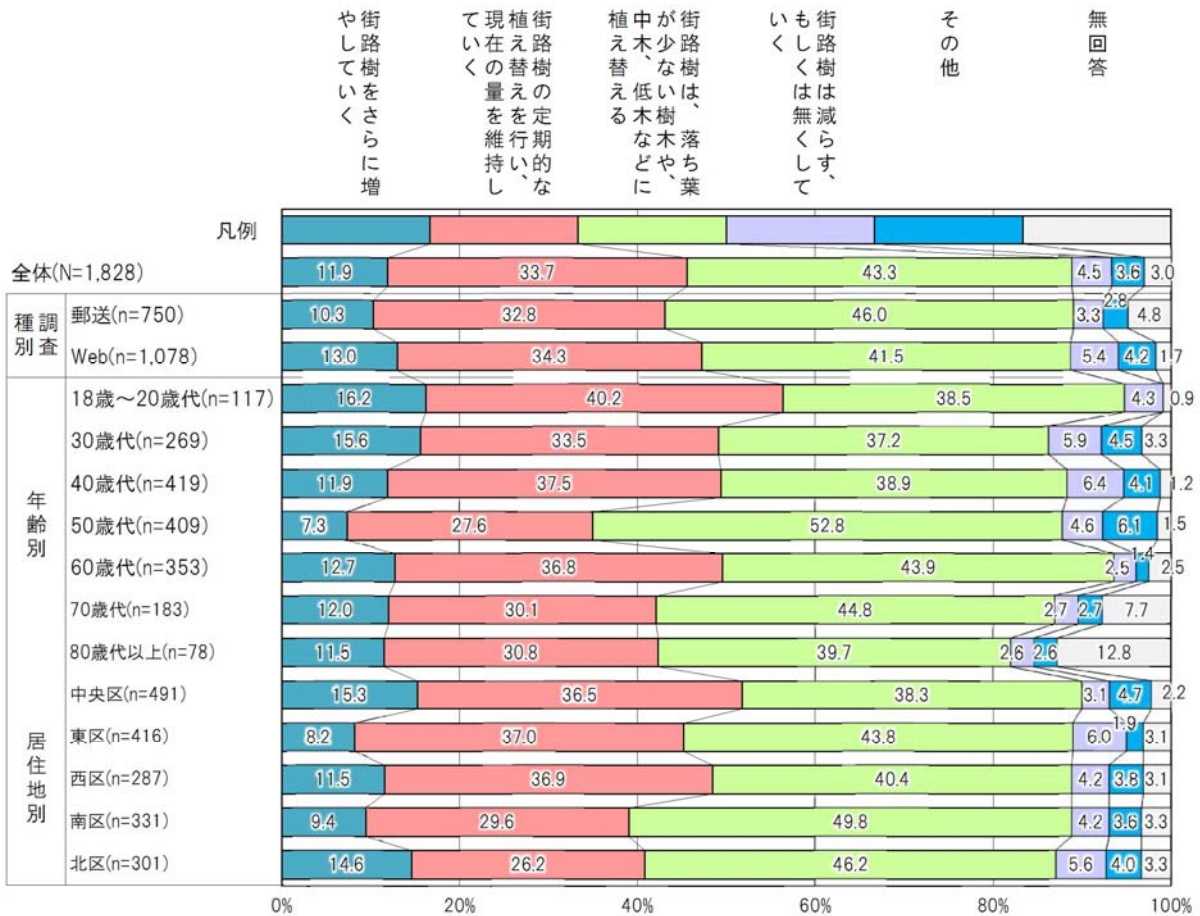
VI-5 街路樹についてどのようにしていくことが望ましいと思いますか。

(該当するものに1つ○印をつけてください)

- 1 街路樹をさらに増やしていく
- 2 街路樹の定期的な植え替えを行い、現在の量を維持していく
- 3 街路樹は、落ち葉が少ない樹木や、中木、低木などに植え替える
- 4 街路樹は減らす、もしくは無くしていく
- 5 その他 (_____)

全体：・「街路樹をさらに増やしていく」は 11.9%と少なく、「街路樹は、落ち葉が少ない樹木や、中木、低木などに植え替える」43.3%、「街路樹の定期的な植え替えを行い、現在の量を維持していく」33.7%が多い。街路樹は、増やしていくよりも、現在ある街路樹の維持管理に重点を置くことが求められています。

居住地別：・『中央区』、『北区』では、「街路樹をさらに増やしていく」が 15.3%、14.6%と他の区と比較して多い。

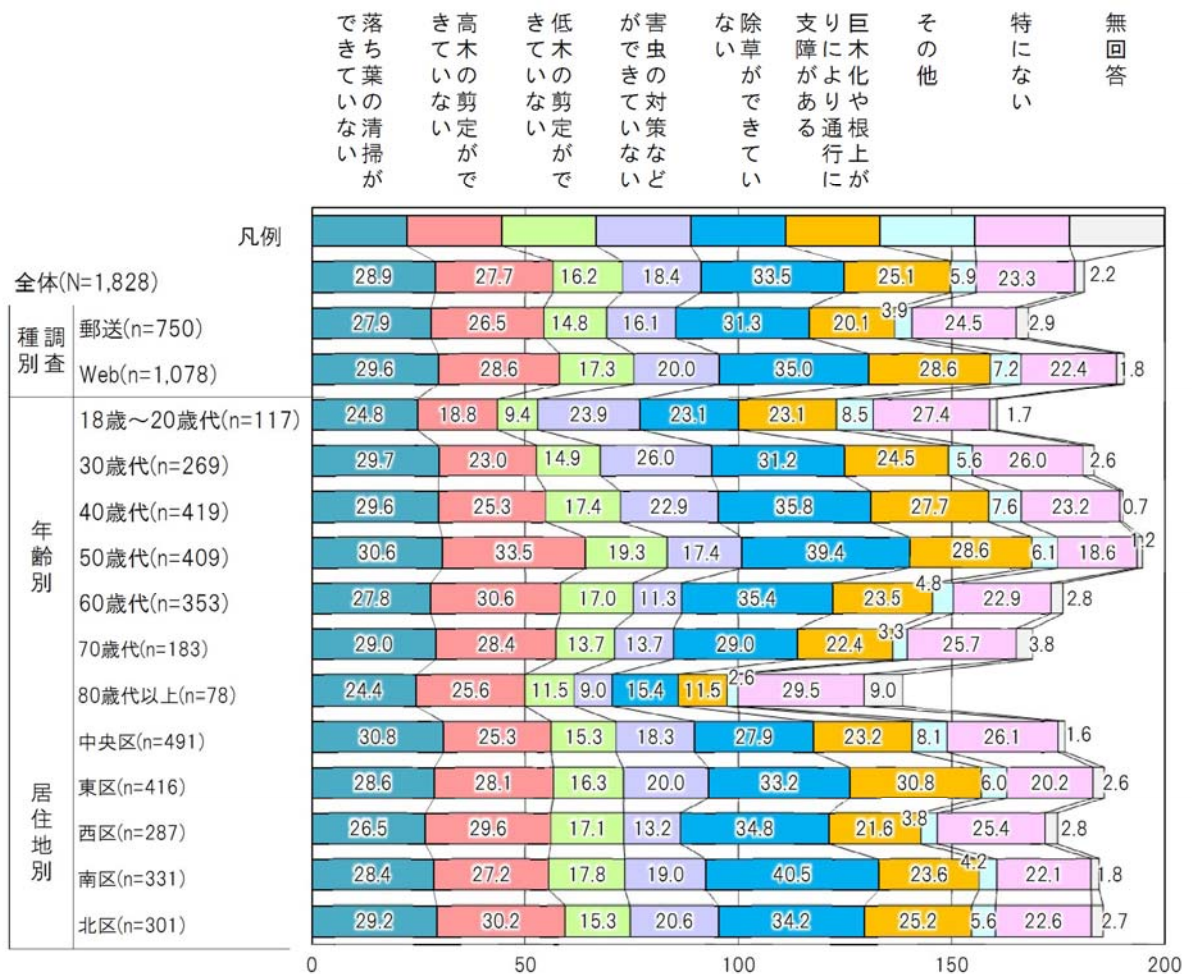


VI-6 街路樹の維持管理について、不満に感じていることは何ですか。

(該当するものに○印をつけてください(複数回答可))

- 1 落ち葉の清掃ができていない
- 2 高木の剪定ができていない
- 3 低木の剪定ができていない
- 4 害虫の対策などができていない
- 5 除草ができていない
- 6 巨木化や根上がりにより通行に支障がある
- 7 その他 (_____)
- 8 特にない

全体：回答者の33.5%は「除草ができていない」、28.9%は「落ち葉の清掃ができていない」、27.7%は「高木の剪定ができていない」、25.1%は「巨木化や根上がりにより通行に支障がある」といった不満があります。なお、「不満は特にない」は23.3%です。



Ⅶ 民有地の緑化についておたずねします。

※民有地とは、住宅地や店舗、事務所等が建っている土地で、公共地は含みません。

Ⅶ-1 民有地の緑化についてどのように感じていますか。

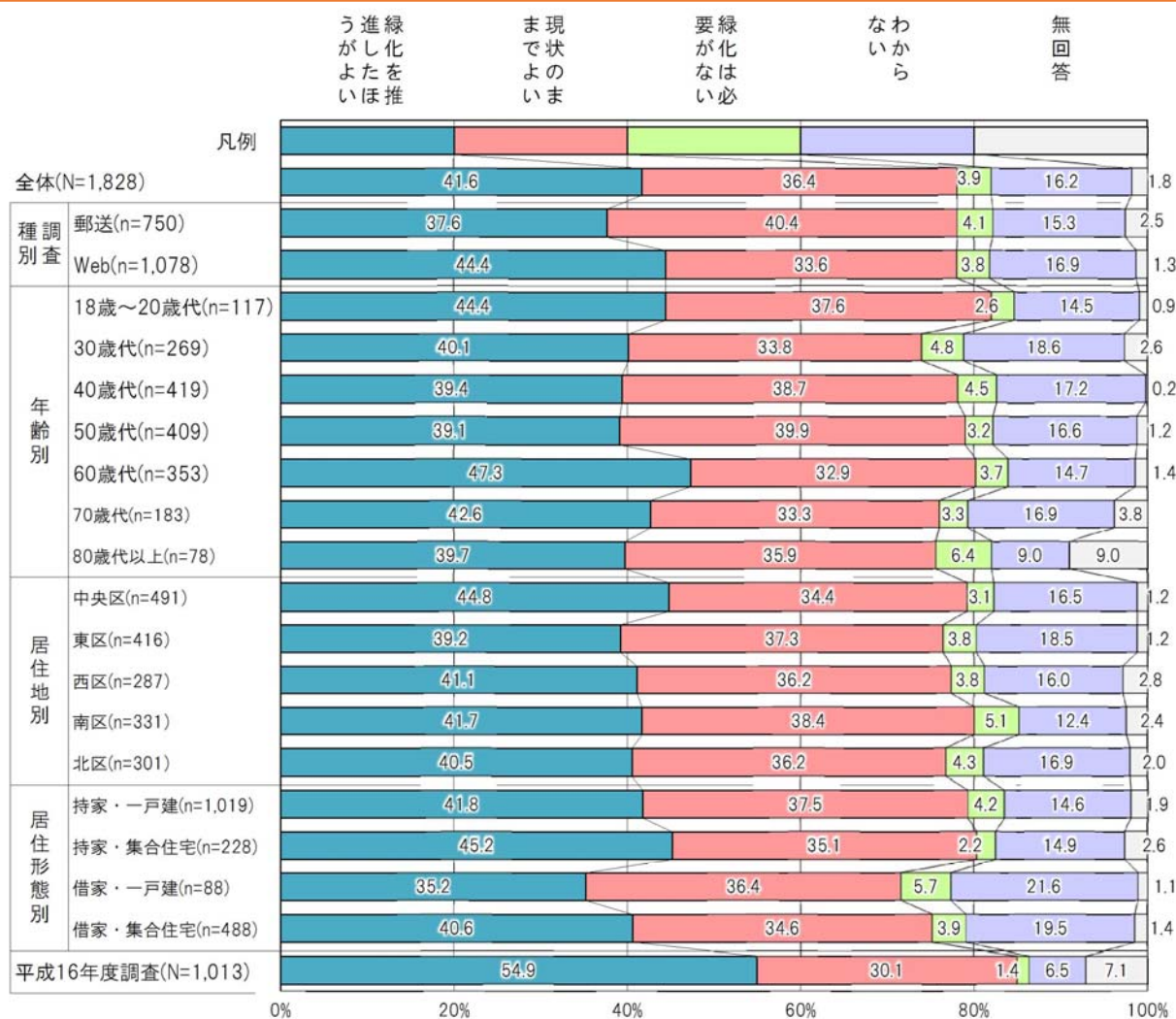
(該当するものに1つ○印をつけてください)

- 1 緑化を推進したほうがよい
- 2 現状のままでよい
- 3 緑化は必要がない
- 4 わからない

全体：・「緑化を推進したほうがよい」が41.6%、「現状のままでよい」36.4%であり、「緑化は必要がない」は3.9%と低かった。

居住地別：・『中央区』では、「緑化を推進したほうがよい」が44.8%と全体と比較して多い。

平成16年との比較：・「緑化を推進したほうがよい」は、平成16年度は54.9%から減少しています。

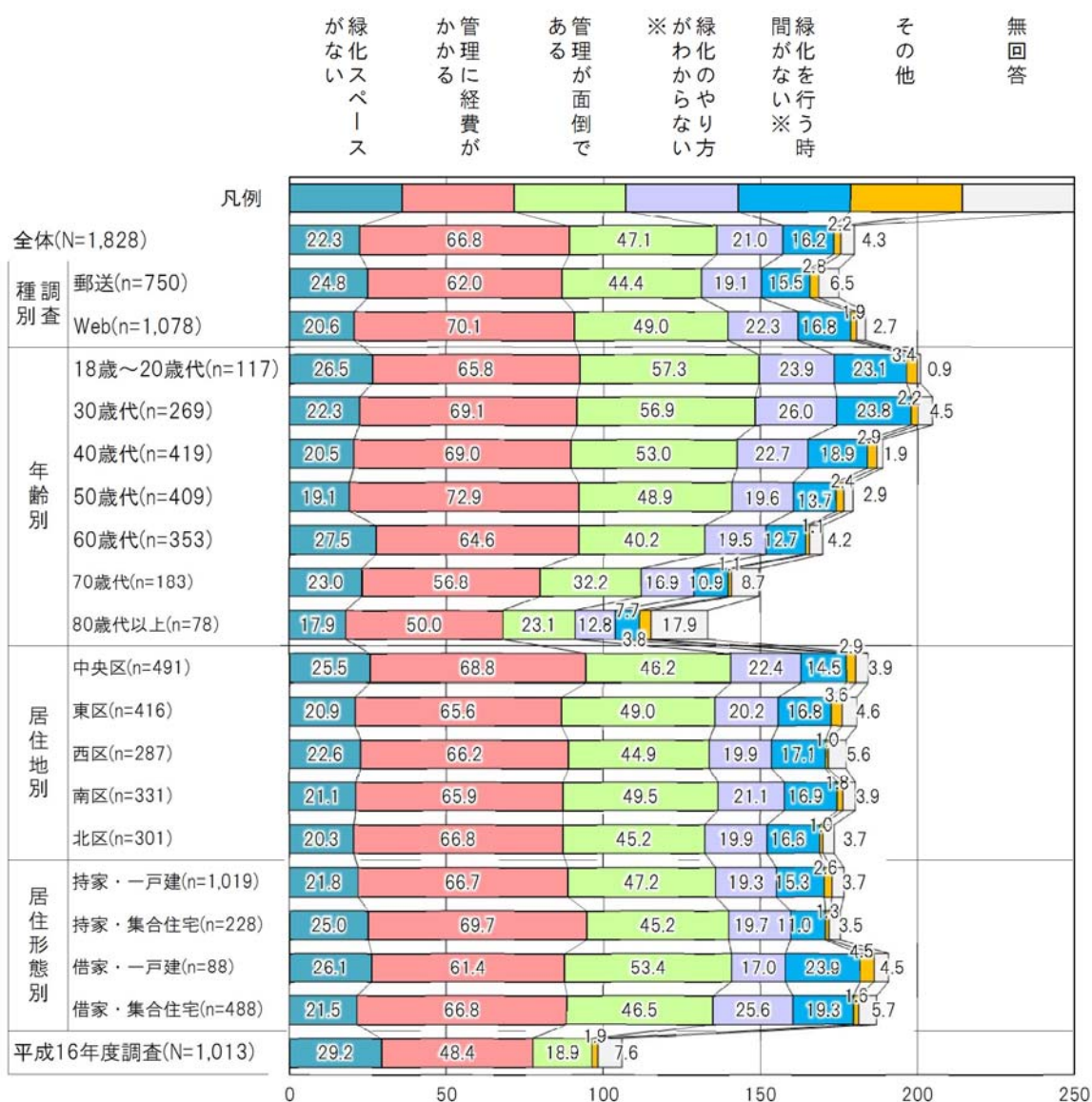


Ⅶ-2 民有地の緑化を図るための課題は何だと思いますか。

(該当するものに○印をつけてください(複数回答可))

- 1 緑化スペースがない
- 2 管理に経費がかかる
- 3 管理が面倒である
- 4 緑化のやり方がわからない
- 5 緑化を行う時間がない
- 6 その他 ()

全体：・「管理に経費がかかる」66.8%、「管理が面倒である」47.1%、「緑化スペースがない」22.3%、「緑化のやり方がわからない」21.0%であり、経費、管理の手間、緑化にかかる時間への対応が求められます。



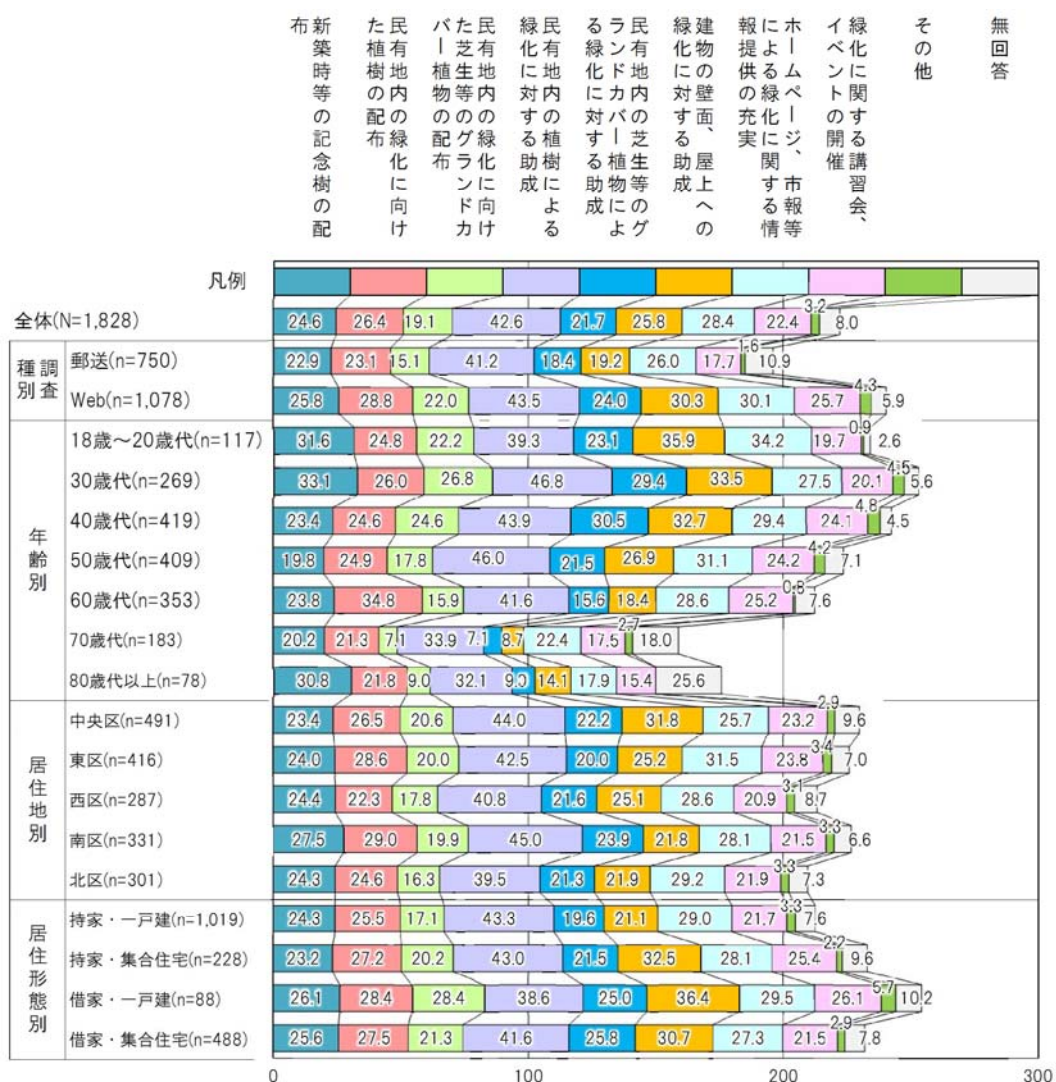
※平成16年度調査にはない項目

Ⅶ-3 民有地の緑化を進めるためにどのような助成制度、支援が必要だと思いますか。

(該当するものに○印をつけてください(複数回答可))

- 1 新築時等の記念樹の配布
- 2 民有地内の緑化に向けた植樹の配布
- 3 民有地内の緑化に向けた芝生等のグランドカバー植物の配布
- 4 民有地内の植樹による緑化に対する助成
- 5 民有地内の芝生等のグランドカバー植物による緑化に対する助成
- 6 建物の壁面、屋上への緑化に対する助成
- 7 ホームページ、市報等による緑化に関する情報提供の充実
- 8 緑化に関する講習会、イベントの開催
- 9 その他 ()

全体：・「民有地内の植樹による緑化に対する助成」が42.6%と多く、その他は「緑化に関する情報提供の充実」が28.4%、「民有地内の緑化に向けた植樹の配布」が26.4%、「建物の壁面、屋上への緑化に対する助成」が25.8%、「新築時等の記念樹の配布」が24.6%の順であった。様々な助成、支援が求められています。



Ⅷ 緑化の推進体制や緑の管理についておたずねします。

Ⅷ-1 緑化や緑の保全活動へ参加することに関心がありますか。

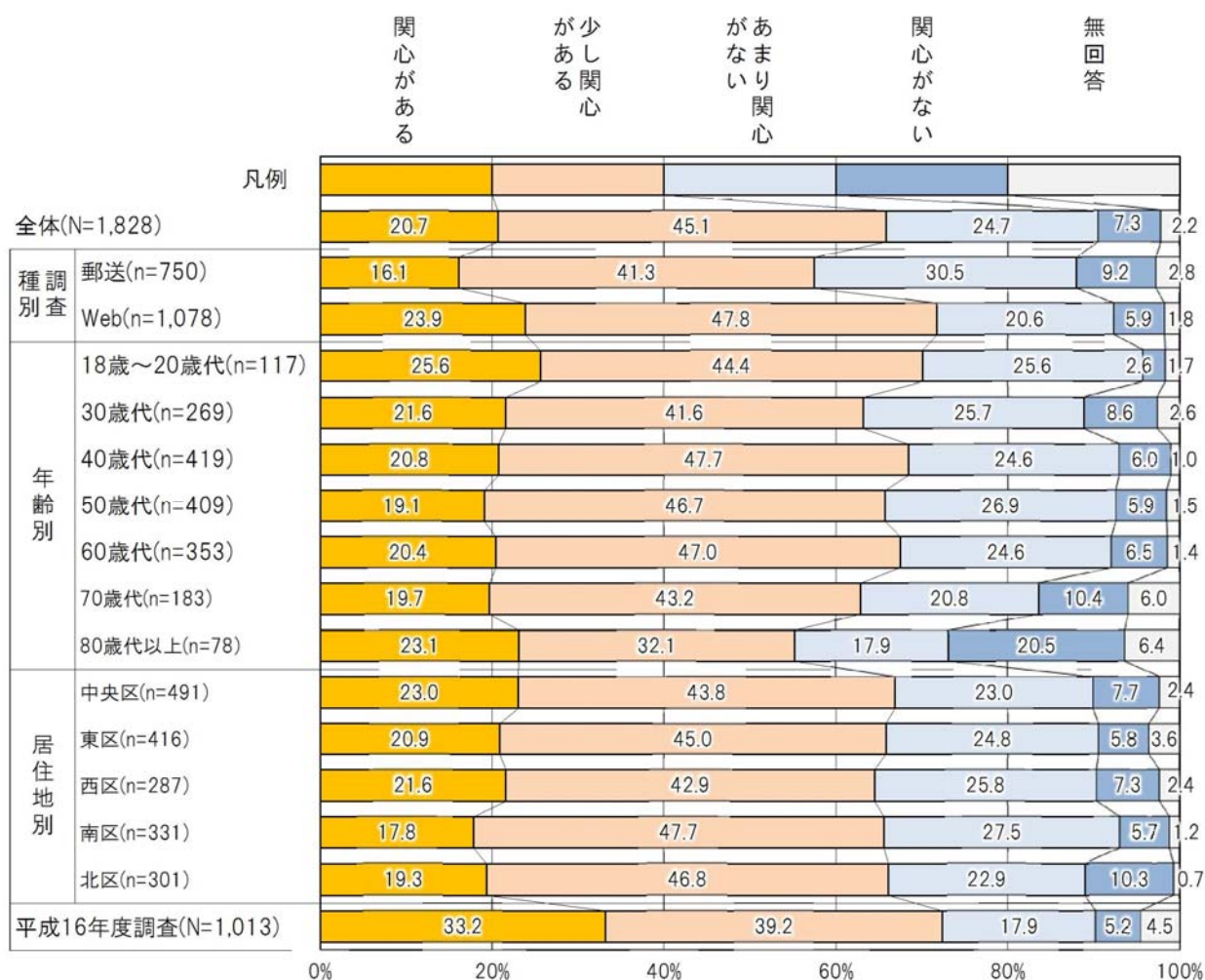
(該当するものに1つ○印をつけてください)

- 1 関心がある
- 2 少し関心がある
- 3 あまり関心がない
- 4 わからない

全体：・「関心がある」が20.7%、「少し関心がある」45.1%であり、合計65.8%でした。

年齢別：・『18歳・20歳代』では、「関心がある」が25.6%、「少し関心がある」44.4%であり、あわせて70.0%で、他の年齢と比較して関心が高くなっています。

平成16年との比較：・「関心がある」は、平成16年度は33.2%から減少しています。「関心がある」、「少し関心がある」の合計は平成16年度72.4%からやや減少しています。

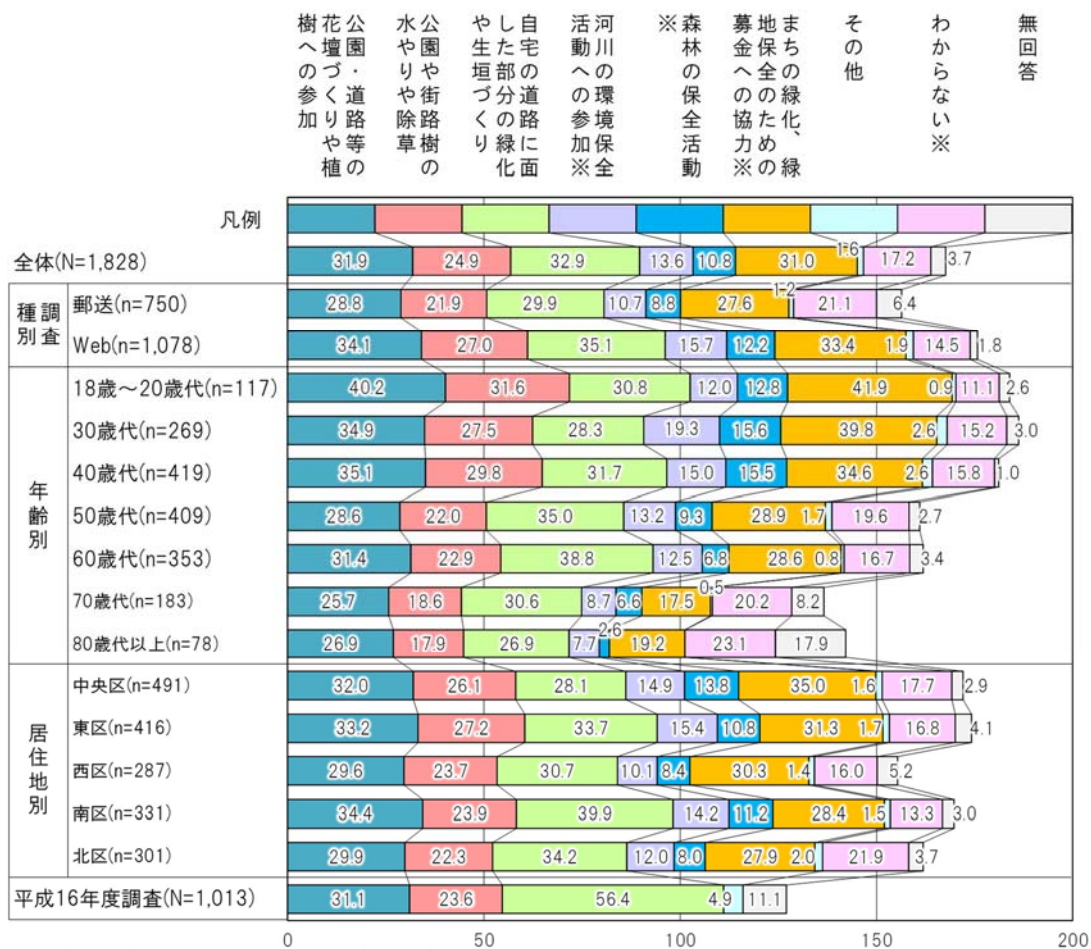


Ⅷ-2 あなたが、参加、協力できそうな緑化、緑の保全活動はありますか。

(該当するものに○印をつけてください(複数回答可))

- 1 公園・道路等の花壇づくりや植樹への参加
- 2 公園や街路樹の水やりや除草
- 3 自宅の道路に面した部分の緑化や生垣づくり
- 4 河川的环境保全活動への参加
- 5 森林の保全活動
- 6 まちの緑化、緑地保全のための募金への協力
- 7 その他()
- 8 わからない

全体：・多い順に、「自宅の道路に面した部分の緑化や生垣づくり」32.9%、「公園・道路等の花壇づくりや植樹への参加」31.9%、「まちの緑化、緑地保全のための募金」31.0%です。
 ・参加型の活動については、「公園・道路等の花壇づくりや植樹への参加」31.9%、「公園や街路樹の水やりや除草」24.9%、「河川的环境保全活動への参加」13.6%、「森林の保全活動」10.8%であり、関心があることがわかります。
 年齢別：・「わからない」以外の回答者数は若い年齢層ほど多いことから、年齢層が若いほど緑化、緑の保全活動への関心が高いことがわかります。



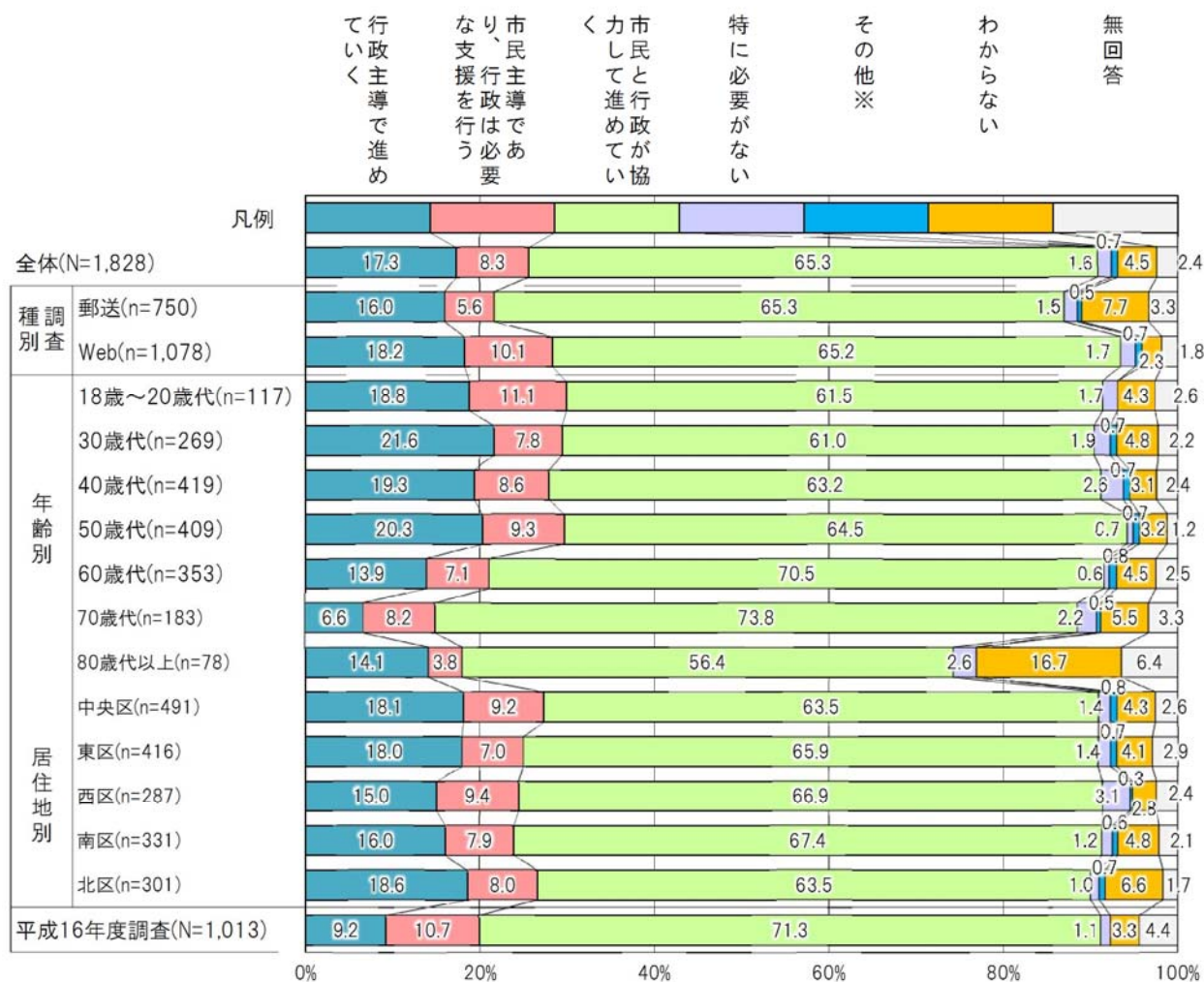
Ⅷ-3 緑化の推進や緑の保全はどのように進めるのがよいと思いますか

(該当するものに1つ○印をつけてください)

- 1 行政主導で進めていく
- 2 市民主導であり、行政は必要な支援を行う。
- 3 市民と行政が協力して進めていく
- 4 特に必要がない
- 5 その他 (_____)
- 6 わからない

全体：・「市民と行政が協力して進めていく」が65.3%と最も多く、「行政主導で進めていく」は17.3%、「市民主導であり、行政は必要な支援を行う」は8.3%でした。市民、行政の協働による緑化の推進や緑の保全が求められています。

平成16年との比較：・「市民と行政が協力して進めていく」は、平成16年度は71.3%からやや減少しています。



Ⅸ 自由意見

熊本市の緑についてご意見をお書きください。

(抜粋)

1_熊本市全体の緑

- 世界の街、国内の他県の街並みと比べた時、熊本市の緑はこれからも守るべき大切な自然遺産だと痛感しており、また同時に、このような自然に囲まれた環境で暮らせることを大変誇りに思っています。(40 歳代)
- 市民の暮らしに根差した緑化ももちろん大切だとは思いますが、県内外からも集客が望めるような観光地的な緑化が必要だと思います。(18 歳～20 歳代)
- 野鳥が集う都市であってほしい。(18 歳～20 歳代)
- ハナミズキやツツジや梅や桜や紅葉など、季節感のある樹木を多く植えてほしいです。(40 歳代)
- 街に花が少なく感じるので、定期的に花の苗を植え替え、花壇やプランターを増や常に花がある状態を維持する。(40 歳代)
- 「森の都」と言われていますが、駅や中心市街地、観光地でインパクトのある緑を感じづらいです。ワンピースのルフィやくまもん等を活用して、広い場所で多くの緑を見られるといいと思います。(50 歳代)

2_公園、街路樹

- 公園の数が多いい地区と、そうでない地区の差が大きいのではないのでしょうか。(60 歳代)
- 小公園について、名称プレート(公園の表札)を設置してほしい。公園に愛着がわいたり、知ることができます。(30 歳代)
- 多くの種類の樹木を植えて(道路等)、その樹木にネームを入れて皆に名前を知ってもらおう。(60 歳代)
- 野外フェスができるような公園ができたら嬉しいです。(40 歳代)
- 江津湖公園にぜひドッグランを併設してもらいたい。維持費としては料金制にするなどして、ぜひつくってもらいたいです。(40 歳代)
- きれいでおしゃれな街路樹道のようなものがあると、ドライブがてらの観光客も増えそうです。気軽に行けるようにぜひ芝生を増やしてほしいです。(18 歳～20 歳代)

3_緑の保全

- 熊本市には特に子ども達の緑を愛する心を育む原体験となる、身近で豊かな自然がまだまだあるので、大人達はその価値を認識し、できるだけ大事に残しながら、子ども達がふれあえる機会を増やしていければ良いと願っています。(60歳代)
- 山の頂上は、樹木剪定をして見晴らしを確保する、登山道の整備をする等、緑にふれたい施策を行ってほしい。(50歳代)
- 花岡山や万日山は熊本市街が一望できて緑も豊かなのに、そこへ行くまでの整備がされていなさすぎて、本当にもったいないと思いました。(40歳代)
- 託麻三山マップのように市指定保存樹木マップ、巨樹(老樹)マップの配布をお願いします。(40歳代)
- 既存の公園の整備も大切だと思うが、荒れた山林は自然環境を保ちながらも、最低限の(安全上の)整備は必要だと思う。(70歳代)

4_民有地の緑化、緑の保全

- 新築でマンション、戸建てを建てる場合は、ある程度の基準の緑化を義務づけるなどしてはどうでしょうか。(50歳代)
- 民有地に緑化推進するのであれば様々な情報を提供してほしいです。(50歳代)
- 個人の宅地の緑の維持のためのアドバイザーがほしい。そんな人達の市民へのアドバイス事例や、私有地や公共の緑化などへの活動が見られるHPなどがあったら利用してみたい。(60歳代)
- 庭木の剪定のゴミがもう少し出しやすくなるとお良いと思う。剪定ゴミの日というのはどうでしょうか。出しやすくなると手入れも積極的にできそうな気がします。(50歳代)

5_運営・維持・管理

- 10代、20代の人でも緑に親しめるイベント等があれば良いと思います。
- 緑を増やすことは重要であるが、熊本市にはそれに伴う害虫、鳥害対策についてもお願いしたい。(18歳~20歳代)
- 落葉樹は見た目きれいですが、落ち葉はすべりやすくかなり危険です。(50歳代)
- 桜の木が代替わりの時期のものは植え替えてほしい。学校の樹木で古いものを伐採したが、代替わりの桜の木がほしい。道路に面する生垣の整備のための補助がほしい。(60歳代)
- 道路沿いの雑草は、いつも安全に走行できるように手入れをお願いします。(30歳代)

- 道路に植樹されている街路樹（トウカエデ）は、夏は強い日差しを遮断し木陰をつくってくれて、通行する時に涼しさを感じさせてくれるので成長を楽しみにしているのですが、新しく出た芽がやっと小枝に成長した時期に剪定されました。2～3年前にも同じことがありました。もうがっかりしています。（70歳代）

6_参加・協働

- 熊本市も政令指定都市となり区ができたのですから市木や市花を見直し、区木や区花を公募して、選ばれた区花を公園や学校に重点的に植えたり、苗や種の配布、写真コンテストなどをして話題作りをし、意識を高めるのはいかがでしょうか。（40歳代）
- ボランティア作業のルールを公開。自宅前の街路樹スペースの手入れ作業など、していいことを決めて教えてほしい。（50歳代）
- 市指定公園の除草のボランティアをしている30代ですが、同年代が圧倒的に足りません。（30歳代）地域の緑化は、町内会の高齢者が中心に活動している。しかし、70歳代以上の人達が多く、若手（中高校生くらいから）の育成は必須であると思う。（50歳代）
- 県や市の大きな1つのスローガンに組み込むなど、情報を知り得る人の裾野、分母を増やしていく必要があると思う。（30歳代）
- くまモンの緑の募金ピンバッジは年2回しか募金できない。回数を増やしたり、熊本全域のゆるキャラのシリーズ化や、ネットで募金ができるようになるといい。（18歳～20歳代）

4. 市民団体アンケートの調査結果

I 団体についておたずねします。

I-1. 市民団体の区分 (該当するものに1つ〇印をつけてください)

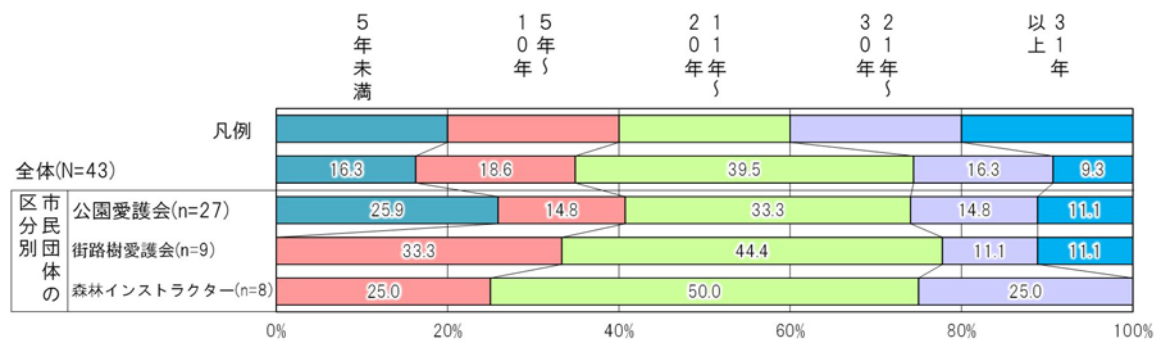
1_公園愛護会 2_街路樹愛護会 3_森林インストラクター

全体：・「公園愛護会」27団体、「街路樹愛護会」9団体、「森林インストラクター」8団体です。
構成比は、62.8%、20.9%、18.6%です。

I-2. 市民団体の活動歴 (該当するものに1つ〇印をつけてください)

1_5年未満 2_5年～10年 3_11年～20年 4_21年～30年 5_31年以上

全体：・「11～20年」が39.5%と多く、「5～10年」18.6%、「21～30年」16.3%です。

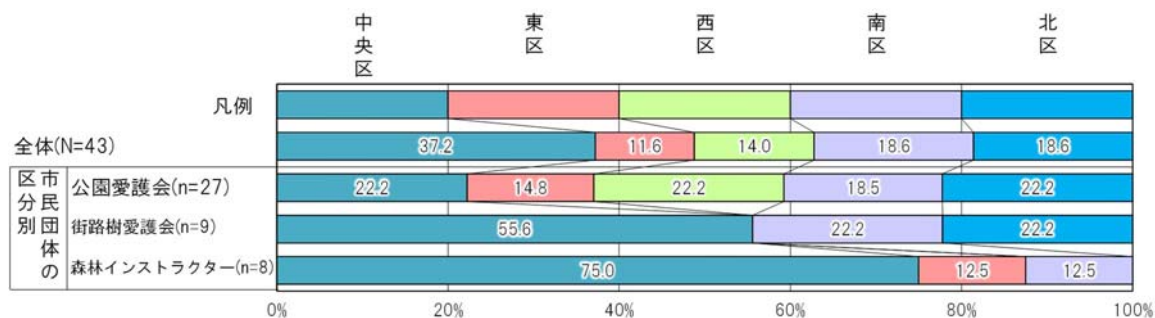


I-3. 所在地

(該当するものに1つ〇印をつけてください)

1_中央区 2_東区 3_西区 4_南区 5_北区

全体：・「中央区」が最も多く37.2%です。



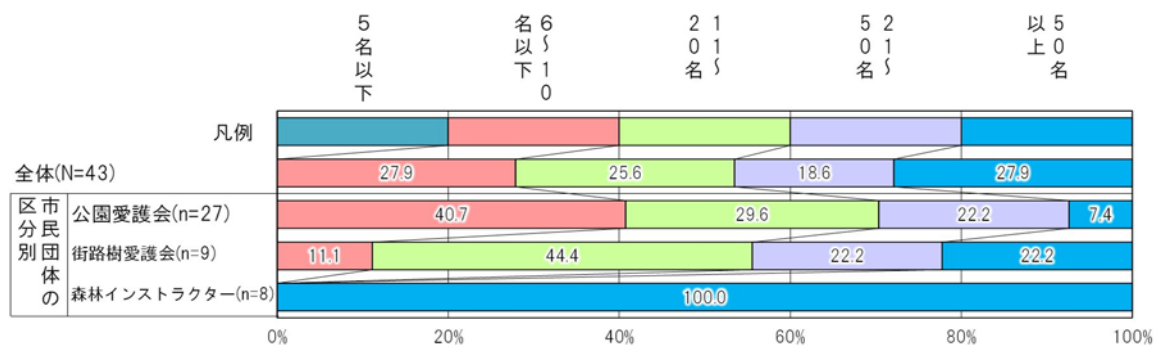
I-4. 構成人数

(該当するものに1つ〇印をつけてください)

1_5名以下 2_6~10名以下 3_11~20名 4_21~50名 5_50名以上

全体：・「6~10名以下」が27.9%、「50名以上」が27.9%です。「5名以下」の団体はありませんでした。

※森林インストラクターは、すべてが「50名以上」を回答しています。



II 現在行っている市民活動についておたずねします。

※コロナ禍以前の状況でお答えください。

II-1 現在行っている市民活動の内容を教えてください。

(該当するものに○印をつけてください(複数回答可))

- 1 公園の清掃・除草・植樹等
- 2 街路樹周辺の清掃・除草・植樹等
- 3 森林地域の清掃・除草・植樹等
- 4 研修会・観察会等イベントの開催
- 5 広報誌の発行
- 6 物販などの営利活動
- 7 募金活動
- 8 その他 ()

団体別：『公園愛護会』(27 団体) は、全ての団体が「公園の清掃・除草・植樹等」を行っています。その他に、「街路樹周辺の清掃・除草・植樹等」を 10 団体が、また、3 団体が、「研修会・観察会等イベントの開催」、「広報誌の発行」、「募金活動」を行っています。

・『街路樹愛護会』(9 団体) は、「街路樹周辺の清掃・除草・植樹等」を 8 団体、また、が「公園の清掃・除草・植樹等」を 5 団体が行っています。

・『森林インストラクター』(8 団体) は、全てが「研修会・観察会等イベントの開催」を行い、「森林地域の清掃・除草・植樹等」を 6 団体、「公園の清掃・除草・植樹等」を 3 団体が行っています。

数値： 上段=% 下段=件数		サン プル 数	公 園 の 清 掃 ・ 除 草 ・ 植 樹 等	植 街 路 樹 周 辺 の 清 掃 ・ 除 草 ・ 植 樹 等	森 林 地 域 の 清 掃 ・ 除 草 ・ 植 樹 等	の 研 修 会 ・ 観 察 会 等 イ ベ ン ト	広 報 誌 の 発 行	物 販 な ど の 営 利 活 動	募 金 活 動	そ の 他
全 体		100.0 43	79.1 34	39.5 17	14.0 6	25.6 11	7.0 3	- -	7.0 3	9.3 4
区 市 分 別 団 体 の	公園愛護会	100.0 27	100.0 27	37.0 10	- -	11.1 3	11.1 3	- -	11.1 3	7.4 2
	街路樹愛護会	100.0 9	55.6 5	88.9 8	- -	- -	- -	- -	11.1 1	11.1 1
	森林インストラクター	100.0 8	37.5 3	- -	75.0 6	100.0 8	- -	- -	- -	12.5 1

Ⅱ－２ 市民活動の活動頻度について教えてください。

(該当するものに1つ○印をつけてください)

- 1 月2回以上
- 2 月1回程度
- 3 2・3か月に1回程度
- 4 年2～3回程度
- 5 年1回程度
- 6 その他 (_____)

全体：・活動の頻度は、「月1回程度」が47.6%、「月2回以上」が40.5%で、月1回以上は合計88.2%です。

団体別：・『森林インストラクター』（8団体）は、「月2回以上」が7団体（87.5%）です。

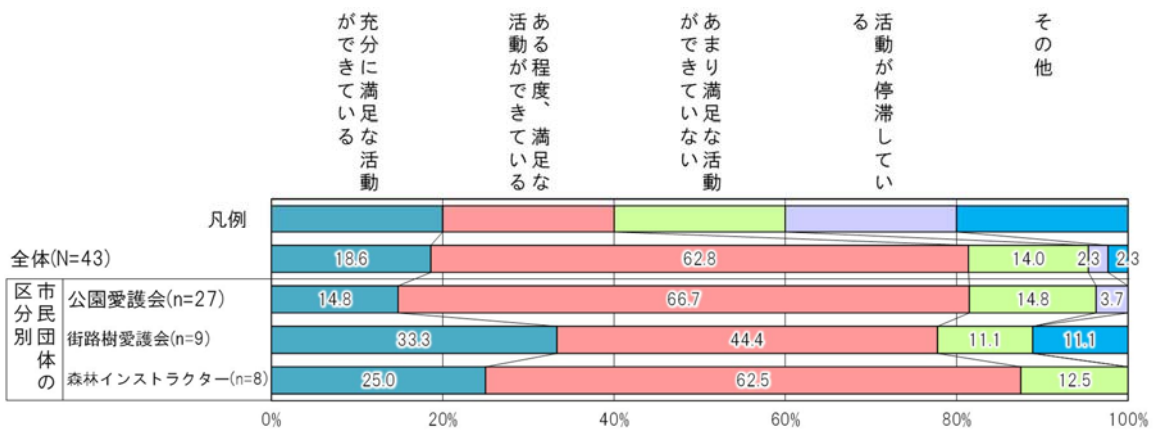
		サ ン プ ル 数	月 2 回 以 上	月 1 回 程 度	2 ・ 3 か 月 に 1 回 程 度	年 2 〜 3 回 程 度	年 1 回 程 度	そ の 他
全 体		100.0 43	41.9 18	46.5 20	- -	9.3 4	- -	2.3 1
区 市 分 民 別 団 体 の	公園愛護会	100.0 27	37.0 10	55.6 15	- -	7.4 2	- -	- -
	街路樹愛護会	100.0 9	22.2 2	44.4 4	- -	22.2 2	- -	11.1 1
	森林インストラクター	100.0 8	87.5 7	12.5 1	- -	- -	- -	- -

Ⅱ-3 現在行っている市民活動について、どのように自己評価しますか。

(該当するものに1つ〇印をつけてください)

- 1 十分に満足な活動ができている
- 2 ある程度、満足な活動ができている
- 3 あまり満足な活動できていない
- 4 活動が停滞している
- 5 その他 (_____)

全体：・「十分満足な活動ができている」、「ある程度、満足な活動ができている」の合計が 81.4% です。「あまり満足な活動できていない」、「活動が停滞している」はあわせて 16.3% と少なくなっています。

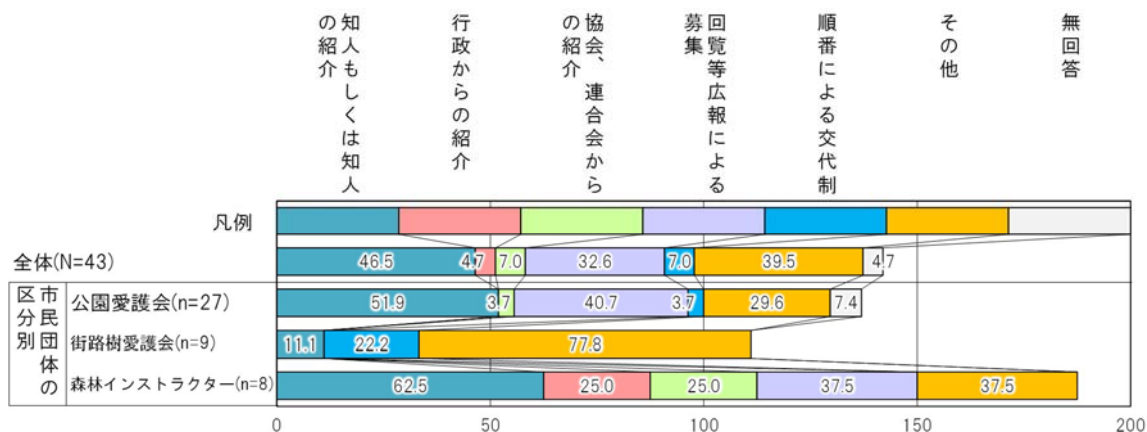


Ⅱ-4 団体構成員の確保をどのようにしていますか。

(該当するものに○印をつけてください(複数回答可))

- 1 知人もしくは知人の紹介
- 2 行政からの紹介
- 3 協会、連合会からの紹介
- 4 回覧等広報による募集
- 5 順番による交代制
- 6 その他 ()

全体：・「知人もしくは知人の紹介」が46.5%、「その他」39.5%、「回覧等広報による募集」が32.6%です。「その他」を回答した17団体のうち10団体は、“自治会役員”です。



Ⅱ-5 他の市民団体との連携をどのように行っていますか。

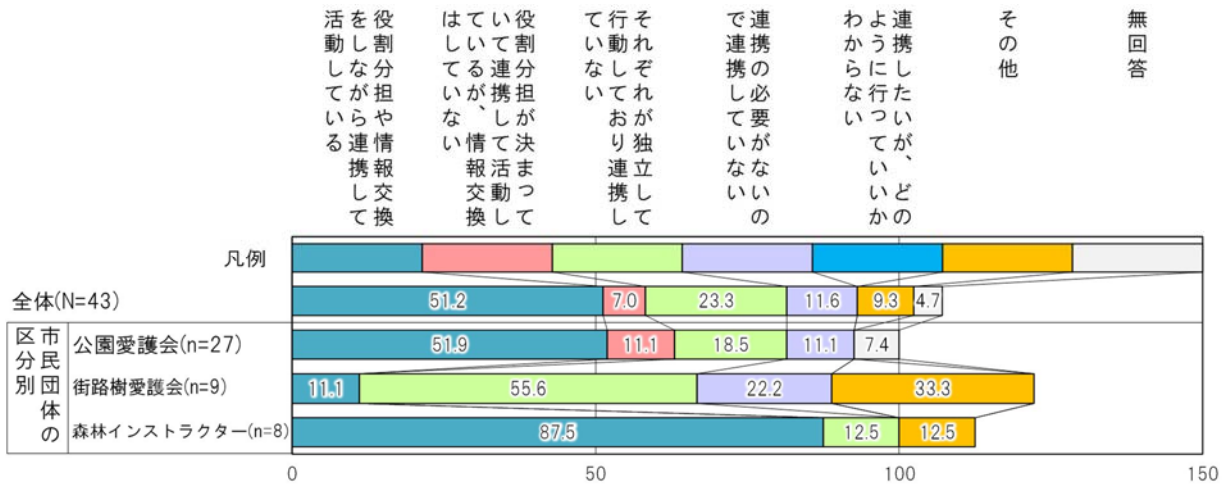
(該当するものに○印をつけてください(複数回答可))

- 1 役割分担や情報交換をしながら連携して活動している。
- 2 役割分担が決まっています連携して活動しているが、情報交換はしていない。
- 3 それぞれが独立して行動しており連携していない
- 4 連携の必要がないので連携していない。
- 5 連携したいが、どのように行っていないかわからない
- 6 その他 ()

団体別：・『公園愛護会』：最も多いのは「役割分担や情報交換をしながら連携して活動している」51.9%です。「それぞれが独立して行動しており連携していない」18.5%、「連携の必要がないので連携していない」11.1%、「役割分担が決まっています連携して活動しているが、情報交換はしていない」11.1%のように、連携や情報交換をしていない団体もみられます。

・『街路樹愛護会』：最も多いのは、「それぞれが独立して行動しており連携していない」55.6%です。

・『森林インストラクター』：最も多いのは「役割分担や情報交換をしながら連携して活動している」87.5%です。



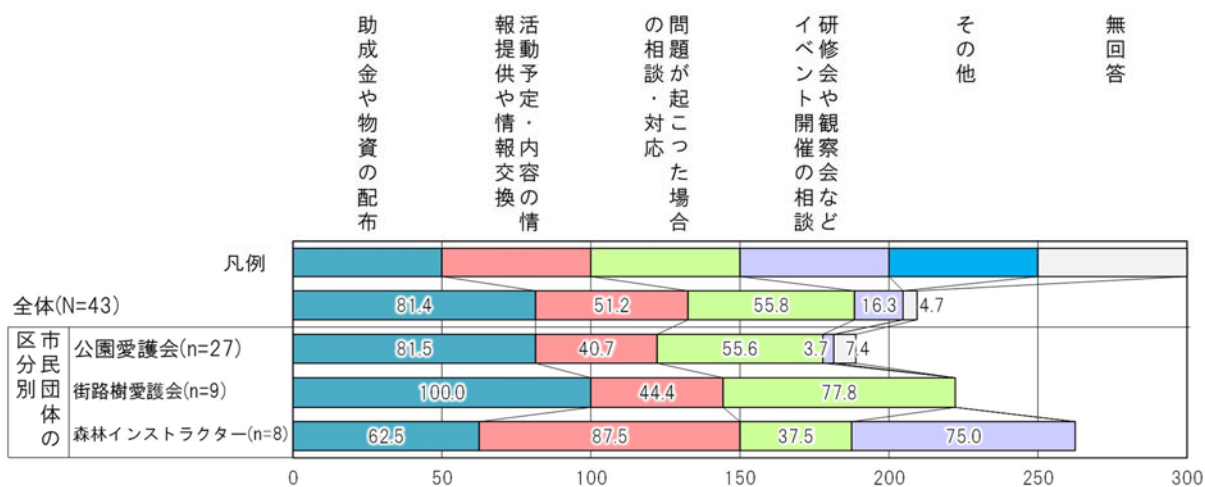
Ⅱ-6 行政とはどのような面で関係がありますか。

(該当するものに○印をつけてください(複数回答可))

- 1 助成金や物資の配布
- 2 活動予定・内容の情報提供や情報交換
- 3 問題が起こった場合の相談・対応
- 4 研修会や観察会などイベント開催の相談
- 5 その他 (_____)

全体：・「助成金や物資の配布」が81.4%、「問題が起こった場合の相談・対応」55.8%、「活動予定・内容の情報提供や情報交換」51.2%など、行政との関係が強い。

団体別：・『森林インストラクター』(8団体)は、「活動予定・内容の情報提供や情報交換」(7名)、「研修会や観察会などイベント開催の相談」(6団体)を積極的に行っています。



Ⅱ-7 地域住民や市民に理解を得るためにどのような広報活動をしていますか。

(それぞれ該当するものに○印をつけてください(複数回答可))

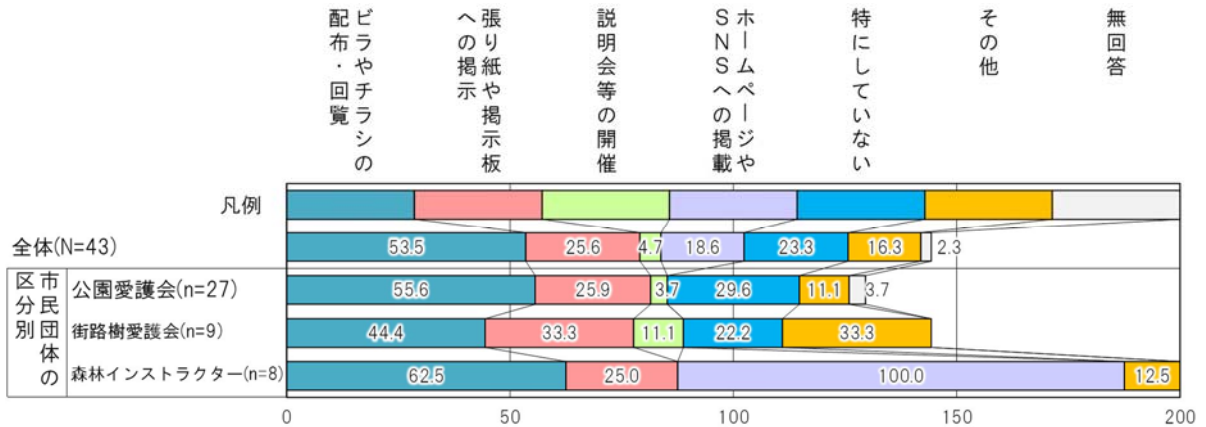
<広報活動の方法について>

- 1 ビラやチラシの配布・回覧
- 2 張り紙や掲示板への掲示
- 3 説明会等の開催
- 4 ホームページやSNSへの掲載
- 5 特にしていない
- 6 その他 (_____)

全体：・「ビラやチラシの配布・回覧」53.5%、「張り紙や掲示板への掲示」25.6%であり、紙媒体が多くなっています。

団体別：・『公園愛護会』、『街路樹愛護会』の、約1/4は特に広報活動をしていません。

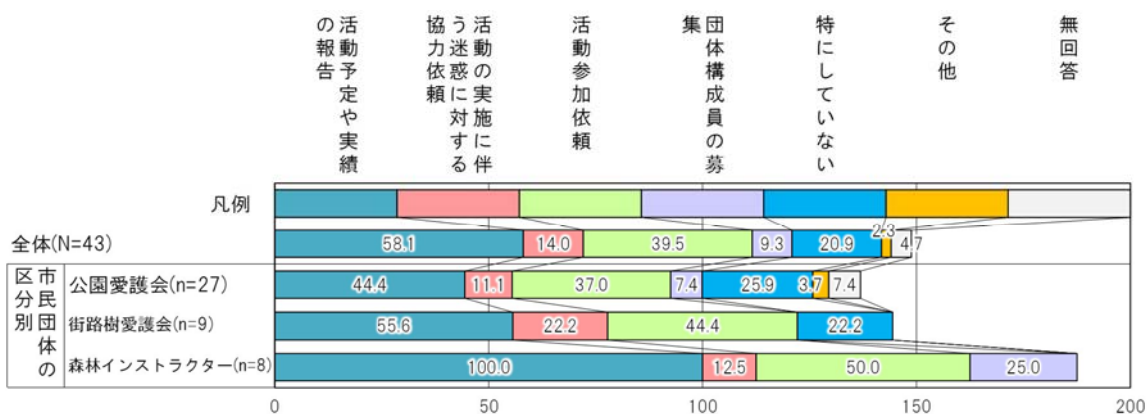
・『森林インストラクター』は、全ての方がホームページやSNSへの掲載を行っています。



<広報活動の内容について>

- 1 活動予定や実績の報告
- 2 活動の実施に伴う迷惑に対する協力依頼
- 3 活動参加依頼
- 4 団体構成員の募集
- 5 特にしていない
- 6 その他 (_____)

全体：・広報活動の内容で多いのは、「活動予定や実績の報告」が 58.1%、「活動参加依頼」39.5%です。

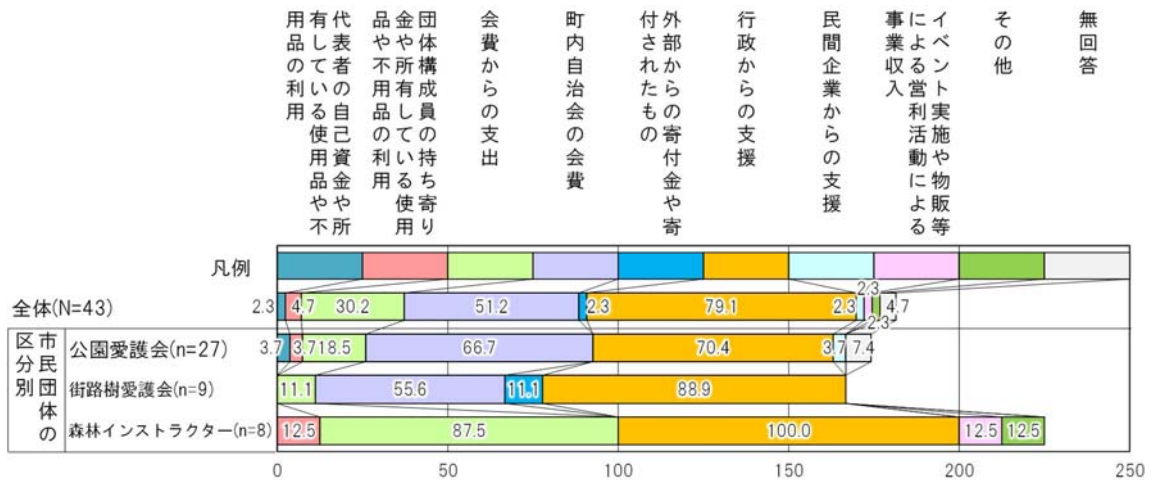


Ⅱ-8 市民活動に必要な資金や物資はどのように調達していますか。

(該当するものに○印をつけてください(複数回答可))

- 1 代表者の自己資金や所有している使用品や不用品の利用
- 2 団体構成員の持ち寄り金や所有している使用品や不用品の利用
- 3 会費からの支出
- 4 外部からの寄付金や寄付されたもの、もしくは、自治会の会費
- 5 行政からの支援
- 6 民間企業からの支援
- 7 イベント実施や物販等による営利活動による事業収入
- 8 その他 ()

全体：「行政からの支援」が79.1%と多いが、「外部からの寄付金や寄付されたもの、もしくは自治会の会費」、53.5%「会費からの支出」30.2%といった会費が次に多くなっています。「民間企業からの支援」や、「イベント等の事業収入」は少ない状況です。



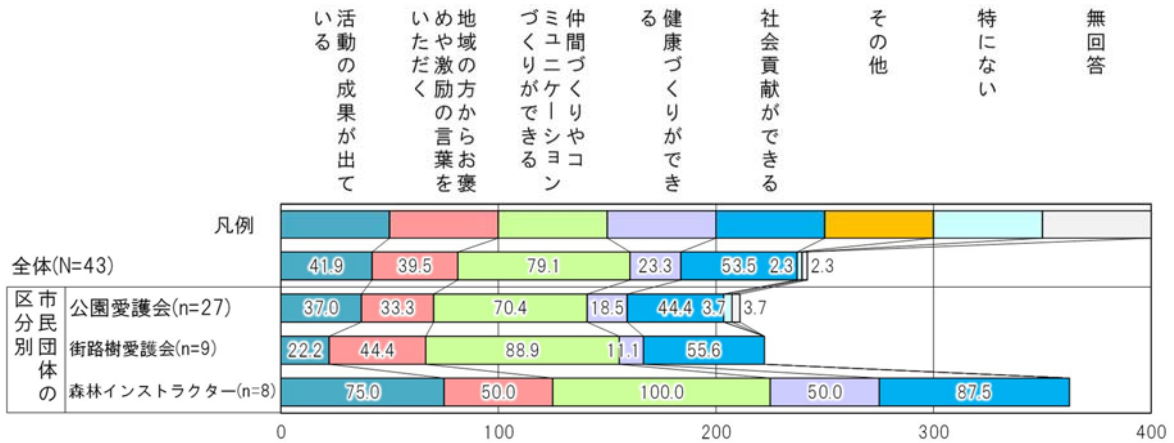
Ⅱ-9 活動を続けていて良かった点は何ですか

(該当するものに○印をつけてください(複数回答可))

- 1 活動の成果が出ている
- 2 地域の方からお褒めや激励の言葉をいただく
- 3 仲間づくりやコミュニケーションづくりができる
- 4 健康づくりができる。
- 5 社会貢献ができる。
- 6 その他 (_____)
- 7 特にない

全体：・「仲間づくりやコミュニケーションづくりができる」が79.1%と最も多いが、「社会貢献ができる」53.5%、「地域の方からお褒めや激励の言葉をいただく」39.5%、「活動の成果がでている」41.9%といった市民活動の効果が良かった点にあげられています。

団体別：・『森林インストラクター』は、「仲間づくりやコミュニケーションづくりができる」のほかに、多くの団体が「社会貢献ができる」「活動の成果がでている」点を回答しています。



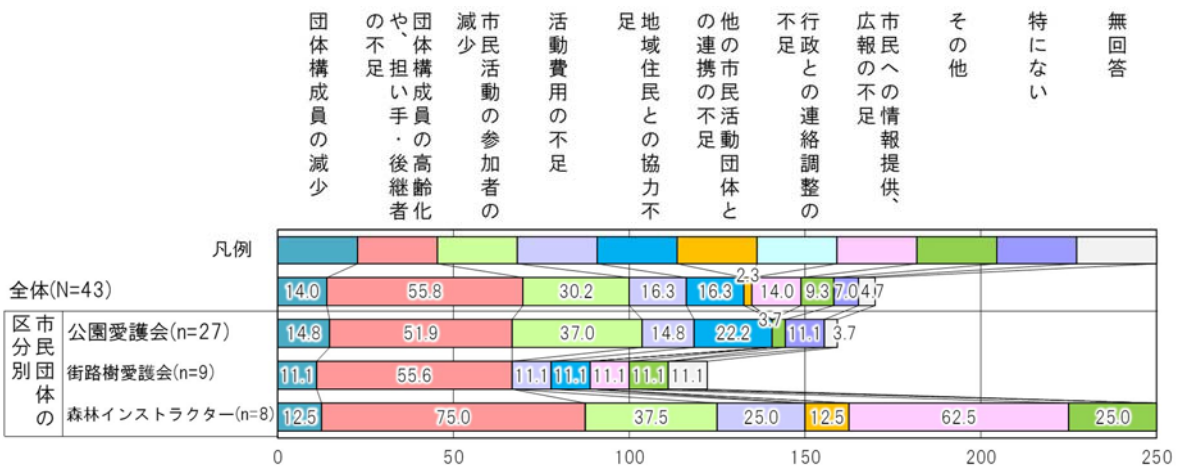
Ⅱ-10 現在行っている活動について、どのような問題がありますか。

(該当するものに○印をつけてください(複数回答可))

- 1 団体構成員の減少
- 2 団体構成員の高齢化や、担い手・後継者の不足
- 3 市民活動の参加者の減少
- 4 活動費用の不足
- 5 地域住民との協力不足
- 6 他の市民活動団体との連携の不足
- 7 行政との連絡調整の不足
- 8 市民への情報提供、広報の不足
- 9 その他 (_____)
- 10 特にない

全体：・「団体構成員の高齢化や、担い手・後継者の不足」55.8%や、「団体構成員の減少」14.0%といった団体構成員の問題が大きく、「市民活動の参加者の減少」30.2%、「地域住民との協力不足」16.3%といった参加者の問題や、「活動費用の不足」16.3%といった問題があります。

団体別：・『森林インストラクター』は、特に、「団体構成員の高齢化や、担い手・後継者の不足」が問題となっています。

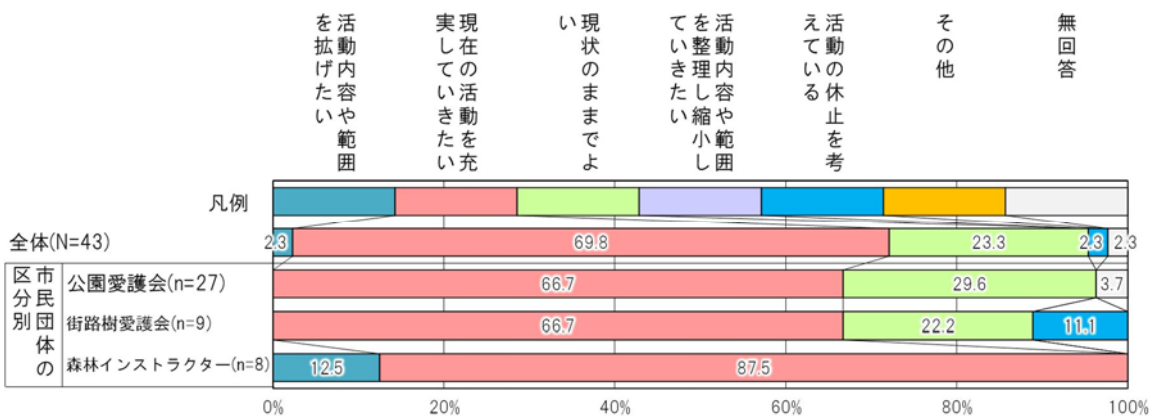


Ⅱ-11 現在の活動について、活動の継続意欲がありますか。

(該当するものに1つ○印をつけてください)

- 1 活動内容や範囲を拡げたい
- 2 現在の活動を充実していきたい
- 3 現状のままでよい
- 4 活動内容や範囲を整理し縮小していきたい
- 5 活動の休止を考えている
- 6 その他 (_____)

全体：・最も多いのは、「現在の活動を充実していきたい」69.3%で、「活動内容や範囲を拡げたい」、「現状のままでよい」を含めると95.4%です。



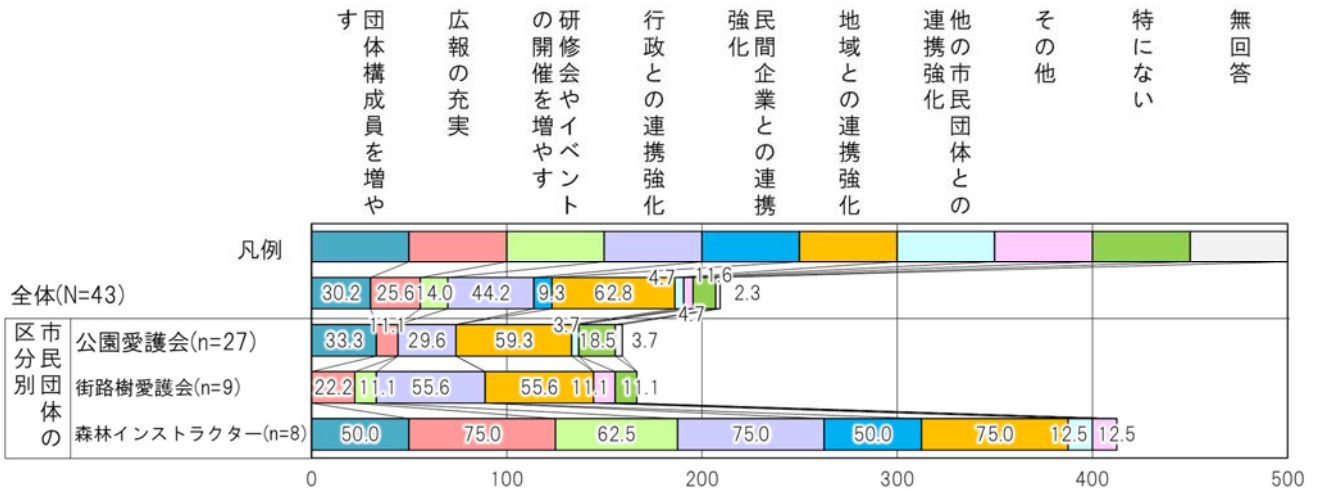
Ⅱ-12 今後の活動の進め方をどのように考えていますか。

(該当するものに○印をつけてください(複数回答可))

- 1 団体構成員を増やす
- 2 広報の充実
- 3 研修会やイベントの開催を増やす
- 4 行政との連携強化
- 5 民間企業との連携強化
- 6 地域との連携強化
- 7 他の市民団体との連携強化
- 8 その他 (_____)
- 9 特にない

全体：・「地域との連携強化」62.8%、「行政との連携強化」41.2%、「団体構成員を増やす」30.2%とであり、多くの市民団体が、地域、行政等との連携の強化を進めていきたいと考えています。

団体別：・『森林インストラクター』は、「広報の充実」、「研修会やイベントの開催を増やす」とする回答が多くなっています。

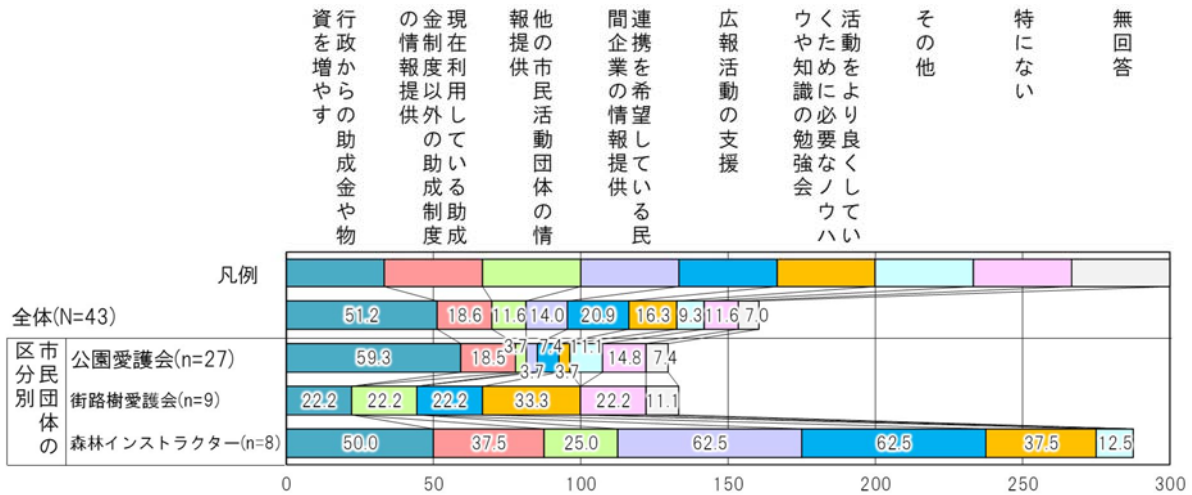


Ⅱ-13 今後の活動を進めていくためにどのような支援が必要ですか。

(該当するものに○印をつけてください(複数回答可))

- 1 行政からの助成金や物資を増やす
- 2 現在利用している助成制度以外の助成制度の情報提供
- 3 他の市民活動団体の情報提供
- 4 連携を希望している民間企業の情報提供
- 5 広報活動の支援
- 6 活動をより良くしていくために必要なノウハウや知識の勉強会
- 7 その他 (_____)
- 8 特にない

全体：・「行政からの助成金や物資を増やす」が51.2%と最も多く、「広報活動の支援」20.9%、「現在利用している助成金制度以外の助成制度の情報提供」18.6%、「活動をより良くしていくために必要なノウハウや知識の勉強会」16.3%の順に多くなっています。



Ⅲ 自由意見

熊本市の緑についてご意見をお書きください。

(抜粋)

1_公園愛護会

- 公園周りの生垣が大きくなりすぎて、生垣の中に入ったら外から見えない。剪定するにも広すぎて後の始末が大変。行政によって2~3年に1回程度でいいから、短く剪定してほしいと思う。
- 緑地内の樹木が大木化し、切ってもらい、住んでいる人が安心して暮らせる環境にしてほしいものと願っています。また、公園の樹木の大規模剪定をお願いしたい。
- 市の方からも中心部のみならず、郊外の方にももう少し援助してもらいたい。
- 街路樹の剪定不足と、木の下での雑草の除草不足です。
- 市当局が行う健軍川堤防の草刈りは年1回しかなく、草が背丈まで伸びるため、防犯上の観点から会独自に年3~4回の草刈りをしています。そこで、会で行っている草刈りの費用を少しでも市当局で補助してもらえませんか。

2_街路樹愛護会

- 高齢化社会に伴う居住空間における緑の保全及び、管理（剪定等）が自力では困難です。森を守り、維持保全、管理には経費も必要で、未整備状態が続けば景観を損ねますので、予算獲得が重要です。

3_森林インストラクター

- 立田山ではわずかしかなかった植物が消滅した所があります。
- 全体として、植物の身になって手入れ等ができていないように思います。
- 一般の参加者を募ってのボランティア作業の計画を行うのはいかがでしょうか。
- コロナ禍でも自然には癒しがあるので、草木の植栽や緑の散歩コースの案内なども大切だと思います。
- 四季感が感じられる種類の花や樹木をゾーンごとに植えたらいかがでしょうか。